

平成4年度

日系人本邦就労者実態調査報告書

平成5年4月

国際協力事業団

移 計
JR
93 - 8

平成4年度日系人本邦就労者実態調査報告書

平成5年4月

LIBRARY

700/213/EMP  
① 10270427

JICA LIBRARY



1104967(3)

25043

平成4年度

日系人本邦就労者実態調査報告書

平成5年4月

国際協力事業団

国際協力事業団

25043

## 序

近年、厳しい経済情勢にある中南米諸国の日系人は、平成3年6月の我が国の入国管理法の改正により、国内での就労が可能になったことに伴い、我が国の労働力不足、高賃金を背景に、就労を目的として来日する者が急増し、その数約15万人と推定されています。

我が国国民の中南米地域等への海外移住事業を展開してきました当事業団では、平成3年度に、財団法人海外日系人協会に委託し、「日系人本邦就労実態調査」を実施したところですが、平成4年度においても、より詳細な実態把握のため、前年度に引き続き、海外日系人協会への委託事業として、「平成4年度日系人本邦就労者実態調査」を実施しました。

今回の調査は、中南米諸国の日系人本邦就労者から、海外日系人協会内の日系人相談サービス・センターに寄せられた相談内容を整理の上、分析を加えたものです。

本報告書は、その結果をとりまとめたもので、前年度の調査報告書と併せ、今後、当事業団の移住事業の展開に資するほか、広く関係各位において、日系人本邦就労問題を考える上での基礎資料に供して頂ければ幸甚と思います。

平成5年4月  
国際協力事業団  
移住事業部長  
湯川修介



# 目 次

## 目次

### はじめに

I. 相談者の属性	1
1. 相談者総数・国別の数	1
2. 相談者の性別	1
3. 年齢	2
4. 世代数	2
5. 居住地域	2
6. 在日期間	3
7. 職業・職場・部門	3
8. 最終学歴	3
II. 生活情報・相談	6
1. 生活一般	6
2. 婚姻関係	6
3. 家族・子供・友人に関する相談	7
4. 書類作成・生活情報提供依頼	8
5. 各種問い合わせ	8
6. 子供を預けて働きたい	10
7. 日系人雇用関連(企業)	10
8. 弁護士の紹介	11
9. 雇用企業との問題	11
10. 日系人に関する資料・情報依頼	11
11. 伝言	11
12. その他・詳細不明	12
III. 労働問題	14
1. 賃金、罰金問題	14
2. 約束違反	15
3. 査証料・旅費の問題	15

4. 親類・友人の労働問題	15
5. 身元保証人	15
6. 会社倒産・人材会社社長の逃亡	16
7. 家賃	16
8. パスポート取り上げ、罰金	16
9. 事故	16
10. 解雇	17
11. 仕事と健康	17
12. 辞職	17
13. 家族	18
14. 雇用企業との問題	18
15. その他・詳細不明	19
IV. ボランティア等	21
1. 日系人からの相談、ボランティア活動希望	21
2. その他・詳細不明	21
V. 求人	22
1. 日系人雇用希望	22
2. その他・詳細不明	22
VI. 求職	23
1. 子供の就労希望、良い条件の仕事希望	23
2. その他・詳細不明	23
VII. 査証関係の相談	25
1. 4世の査証、帰国せず査証更新の可能性	25
2. 身元保証人探し	25
3. 親類・友人の査証のための相談	25
4. 超過滞在について	25
5. 二重国籍・帰化について	26
6. 査証更新・変更、再入国手続き	26
7. 各種証明書の取り寄せ方法	27
8. APPLICATION (申請中)について	27
9. 身元保証人になることを希望	28



10. その他・詳細不明	28
VIII. 税金に関する相談	29
1. 税金一般	29
2. 住民税・所得税	29
3. その他・詳細不明	29
IX. 医療に関する相談	30
1. 各種問い合わせ	30
2. 怪我・事故	30
3. 医療生活扶助について	30
4. 親類の怪我の相談	30
5. その他・詳細不明	31
X. 日本語(学習・通訳・翻訳)に関する相談	32
1. 学習希望	32
2. 通訳・翻訳の仕事希望・依頼希望	32
3. 日本語を教える	32
4. その他・詳細不明	32
XI. 保険・年金に関する相談	33
1. 事故・怪我	33
2. 保険についての各種相談	33
3. その他・詳細不明	34
XII. 教育に関する相談	35
1. 保育園・幼稚園関連	35
2. 小学校・中学校関連	35
3. 大学関連	35
4. その他・詳細不明	35
XIII. 帰国	36
1. 帰国一般	36
2. 財産証明書について	36

3. 一時帰国について .....	36
4. その他・詳細不明 .....	36
XIV. 相談に対する対応 .....	37
1. 紹介先機関 .....	37
2. その他・詳細不明 .....	37
XV. 相談方法 .....	38
おわりに .....	39
資料編 .....	43
南アメリカの地図 .....	45
数値表 .....	49
相談票 .....	79

## はじめに

### 調査の背景

ラテンアメリカのいくつかの国では経済構造改革をはかっているが、日系人社会の存在する同地域の国の中で改革が比較的進んでいるチリ、アルゼンチンを除けば改革のテンポは遅い。この長期化する経済危機からの脱出の立ち後れと日本のバブル経済の崩壊を受け、仲介・斡旋・人材派遣業者を中心に日系人就労者を雇用していた大企業の下請け、孫請け中小企業は不況の波にさらされてきている。ラテンアメリカの出身国と日本の経済状況下で日系人就労者は様々な問題に直面し、その悩みを切実に日系人相談サービス・センターにもちかけてきている。このような相談の分類・分析が日系人就労者をとりまく状況を改善するための一助になると考えられる。

### 調査の内容

今回の調査は上記の経済状況を背景として、ラテンアメリカの日系人就労者から日系人相談サービス・センター（海外日系人協会内、以下相談センターと略称）に寄せられた相談の内容を整理、数量化、統計化して、分析を加えたものである。

### 調査のデータ

調査に用いられるデータは1992年8月1日から1993年2月28日の7ヵ月の間に寄せられた3044件の相談を骨子とする。なお、相談者数は3,044件であるが、一人で複数の相談をする場合もあるため、相談項目の総件数は3,584件にのぼっている。

### 調査の方法

調査の実施方法は相談センターの職員が日本語、ポルトガル語あるいはスペイン語で相談を受けて、事前に準備した相談シート（別表掲載）に沿って相談者の属性および相談内容を記入する形をとっている。さらに、必要な場合は追加事項を文章などで記入することとした。

## 調査の整理、数量化、統計化及び分析に携った者

調査の基本データは、海外日系人協会の委託で、田島久歳(城西国際大学専任講師)をはじめ、山脇千賀子(筑波大学大学院博士課程社会科学研究科社会学専攻院生)、新木秀和(同大学大学院博士課程歴史・人類学研究科史学専攻院生)、高木耕(同大学大学院修士課程地域研究研究科院生)が分類、数量化、統計化した後、これを解釈してまとめたものである。

## Ⅰ . 相 談 者 の 属 性

### 1. 相 談 者 総 数 ・ 国 別 の 数 (【表 1】、【表 2】、【表 4】を参照)

1992年8月1日から1993年2月28日までの7ヵ月間に海外日系人協会の日系人相談センターに寄せられた相談件数は、相談者数では3,044人であり、複数相談を含めると3,582件となる。

相談者数を月別にみると1992年は8月の395人、9月の495人、10月の480人、11月の430人、及び12月の359人であり、また1993年は1月の465人、及び2月の420人となっている。相談者数には月により多少の上下はみられるが、もっとも少ない月は1992年12月の359人(調査対象期間の11.8%に相当)、もっとも多いのは1992年9月の495人(同16.3%)である。

相談者を国別にみると、ブラジル出身者が最も多く、7ヵ月間で2,040人と全体の67%を占める。ブラジルに次いで多いペルー出身者は616人で全体の20.2%を占め、またボリビア出身者は32人で1.1%、アルゼンチン出身者は12人で0.4%、パラグアイは5人で0.2%となっている。その他の国の日系人、すなわち、チリ(7人)、ベネズエラ(2人)、ドミニカ共和国(1人)、ウルグアイ(1人)、フィリピン(4人)、及びスペイン(1人)からの出身者は16人で0.5%を占める。また、非日系人は10人、日本人の相談者は290人(全体の9.5%)であり、さらに詳細不明が23人となっている。

月毎の国別の相談者数をみても右比率にはさほど大きな変化はみられない。

### 2. 性 別 (【表 3】、【表 5】を参照)

相談者の性別をみると男性が1,922人で63.1%、また女性が1,114人で36.6%を占める。

相談者の性別を国毎にみると、ブラジル出身者は男性1,290人(63.2%)、女性748人(36.7%)、ペルー出身者は男性400人(64.9%)、女性214人(34.7%)、また日本人相談者は男性172人(59.3%)、女性116人(40.0%)となっている。その他、サンプル数は少ないが、ボリビアは32人中24人が男性、アルゼンチン出身者は12人中5人が男性、他の国の日系人は16人中10人が男性となっている。

### 3. 年齢 (【表 6】、【表 7】、【表 8】を参照)

年齢のわかる相談者412人の年齢別構成をみると、132人(32.0%)が25才から29才の層、101人(24.5%)が20才から24才の層、また39人(9.5%)が30才から34才の層にそれぞれ属しており、したがって、相談者全体の67%が20才から34才の若年層であることが判明する。

年齢別構成を性別にみると、男女共に25才から29才の層がもっとも多く、順に32.5%及び31.1%を占める。次いで、20才から24才の層は男性26.6%、女性20.7%であるが、30才から34才の層では男性11.2%に対して女性は半分の5.9%にとどまる。反対に、35才から39才の層では男性3.6%に対し女性は11.1%である。また、数が多いブラジル及びペルー出身者については、前者の58.1%が20代、16%が30代に属し、後者でも順に50%、及び18.8%となっている。さらに、ペルーの場合は25才から29才の層に集中していることが注目される。

### 4. 世代数 (【表 9】、【表 10】、【表 11】を参照)

日系人相談者の世代数をみると、1世は0.6%、2世は30.7%、そして3世は16.5%となっており、2世の割合の高い点が特徴的となっている。また興味深いことに日本人相談者も9.4%と1割近くを占め、また日系人の配偶者をもつ非日系人の相談者の割合も9.4%である。

次に相談者の配偶者についてみると、1世は1.2%、2世は38.9%、そして3世は13.1%となっており、この場合も2世の割合の高いことがわかる。また非該当、つまり、本人と配偶者がいずれも外国人であるか独身である人は9.4%を占めている。

さらに配偶者の世代数を国別にみると、ブラジル出身者の場合は262人中110人(42%)が2世で、非日系の配偶者は63人(24%)となっており、一方、ペルー出身者の場合は49人中15人(31%)が2世で、非日系の配偶者は6人(12%)となっている。

### 5. 居住地域 (【表 12】を参照)

相談者の居住地域をみると、東京都、神奈川県、埼玉県を中心とする関東地方、それに愛知県、静岡県を中心とする東海地方の両地方に集中していることがわかる。また、大阪府、滋賀県、兵庫県を中心に近畿地方からも相談がある。

## 6. 在日期間 (【表 13】を参照)

在日期間がわかっている相談者461人のうち1年未満の人は53.4%、1年から2年未満の人は32.1%、2年から3年未満の人は10.6%、3年から4年未満の人は2.0%、5年から8年未満の人は1.7%、そして8年以上の人は0.2%となっている。

## 7. 職業・職場・部門 (【表 14】を参照)

日本での職業・職場あるいは部門についてみると、詳細がわかる127人中31人(24.4%)が製造業(部品・化学関係・食品加工の工場、及び詳細不明のもの)に従事しており、また18人(14.2%)は失業中である。その他の業種の中にはアルバイト、酪農従事者、カトリック協会のシスターなどが含まれる。

## 8. 最終学歴

相談の殆どが電話によるという方法上の限界から把握が困難なため、今回は最終学歴については特別には調査していない。但し、1991年の9月の中旬に新潟県と茨城県でそれぞれブラジルとペルー出身の日系人就労者を雇用している企業2社を調査したところ、次表の結果が得られた。

ブラジル出身の日系人の最終学歴

	小・中学校	高等学校	専門学校	大学	合計
卒業	23	30	0	24	
未卒業	1	8	0	4	
小計	24	38	0	28	90
全体の%	26.6	42.2	0.0	31.1	100.0

ペルー出身の日系人の最終学歴

	小学校	中・高等学校	専門学校	大学	合計
卒業	3	13	35	16	
未卒業	0	2	2	13	
小計	3	15	37	29	84
全体の%	3.6	17.6	44.0	34.5	100.0

注：ブラジルでは現在、小・中学校は8年一貫制(義務教育)となっているが、教育制度はこれまで目まぐるしく変遷してきた。1960年代には小学校4年(小学校のみ義務教育)、中学校4年、高等学校3年であったし、1960年代後半から1971年にかけては一時的に、小学校4年、中学校準備コース1年、中学校4年、高等学校3年という区分が導入された。しかも複雑なことに、中学校準備コースは地域と時期によって異なり、飛び級式の場合もあった。なお、大学は通常4年である。

ペルーでは現在、小学校6年(小学校のみ義務教育)、中・高等学校は5年の一貫制教育、そして大学は通常5年である(医学部は除く)。

野元弘幸らは1993年1月30日から2月11日にかけて愛知県豊田市保見団地に住む日系人を対象に「在日日系人およびその家族の生活実態と日本語の学習に関する調査」を実施した。その調査結果によると、回答者315人(1世8人に加え、ブラジル出身者は303人で96.2%、ペルー、アルゼンチン出身者はそれぞれ1人、その他2人)に関する最終学歴の内訳は、次表のように小学校6.3%、中学校20.6%、高等学校44.4%、大学26%、大学院0.6%となっている。



日系人の最終学歴

	小	中	高	大学	大学院	その他	合計
卒業	15	32	93	38	1	6	
未卒業・無記入	5	33	47	44	1	0	
小計	20	65	140	82	2	6	315
全体の%	6.3	20.6	44.4	26.0	0.6	1.9	100.0

注：小学校は4年、中学校は4年、高等学校は3年としてある。ブラジルではこの区分を用いないが、日本の研究者、読者に分かりやすくするため日本の教育年限にしたがって再編成した、と調査者から説明があった。

喜多川豊宇らは1990年11月4日に群馬県大泉町で日系人182人(ブラジル出身者92.9%、ペルー0.5%、その他6.6%)を対象に面接調査を実施した。その調査結果によると、最終学歴は次表の通りである。

N=179

小中学校	高校	専門学校	短大	大学	大学院	その他
25.1%	30.7%	20.7%	6.7%	16.2%	0.0%	0.6%

出所：「群馬県大泉町における日系人労働者のヒアリング調査」、東洋大学社会学部紀要28-2, pp.162~3.

## ⅠⅠ．生活情報・相談

### 1. 生活一般 (相談件数は93件。【表 15】、【表 15】を参照)

生活一般に係わる相談内容としては次のようなものがある。

- ・ ブラジル大使館でブラジルの社会保険(INPS)用のために在職証明書を発行してもらう手続き
- ・ 自動車を借りる方法
- ・ 寝泊まりする宿がなく困っている
- ・ 金銭がなく生活に困っている
- ・ 賃金が低く日本での生活が厳しい
- ・ 生まれる子供のために自国のパスポートの取得を希望しているが、その手続きについての問い合わせ・相談
- ・ 出身国のパスポートの更新・新規発行について
- ・ パスポートの期限切れにより申請用紙の送付依頼
- ・ 母親が来日するがブラジルの年金が引き続きもらえるか、あるいは日本で介護が受けられるか
- ・ 養子縁組・呼び寄せについて
- ・ 生存証明書の発行場所と依頼方法について
- ・ 住所変更の手続きの方法
- ・ 身元保証人を持つ日系人に対してアパートを賃貸したい旨を知らせたい
- ・ 家賃についての問い合わせ・相談(アパート契約時に権利金を支払う必要性について等)
- ・ 日系人の親類・縁者・友人が死亡したため死亡証明書の取り方について
- ・ 結婚を希望しているが現在の仮結婚相手が莫大な慰謝料を要求していることへの対処方法について
- ・ 息子が相撲大会に参加するとを知らせたい
- ・ 4月にスポーツ交流協会を結成することを通知したい

### 2. 婚姻関係 (相談件数は104件。【表 15】、【表 16】を参照)

離婚についての相談には次の内容のものが多い。

- ・ 出身国で結婚したが日本で離婚できるか否か
- ・ 夫(妻)が離婚を希望しているが手続きを知りたい
- ・ 仮結婚の相手と離婚して再婚したいが仮結婚の相手から数千ドルの慰謝料を要求されているがいかにすべきか
- ・ 離ればなれに暮らしていた夫から家族に仕送りしなくなったので離婚したいがその手続きについて
- ・ 離婚したので6ヵ月間夫から慰謝料あるいは財産の一部をもらえるか
- ・ 離婚したのでパスポートを訂正したいがその方法について  
また、結婚についての相談は次のような内容がある。
- ・ 結婚の必要書類と手続きについて
- ・ 結婚したので市役所に届け出たいが、いかにすべきか
- ・ 未成年者であり結婚したいが出身国にいる親の許可をいかにして取り寄せられるか
- ・ 出身国の人と委任結婚したいが相手に査証は出るか
- ・ 姪(ブラジル出身2世)の結婚についての相談

### 3. 家族・子供・友人に関する相談

(相談件数は87件。【表 15】、【表 16】を参照)

家族に関する相談には次のようなものがある。

- ・ 家族の呼び寄せ方法・手続きについて
- ・ 会社に知らせず家族を呼び寄せたがいかにすべきか
- ・ 家族が来日するので大きな家を借りたいが身元保証人を紹介してほしい
- ・ 医師の過失により家族が死亡したのでどうしたらよいかわからない

子供に関する相談には次のようなものがある。

- ・ 子供が生まれたため出生手続きを教えてほしい
- ・ 子供の出生届をしたことを会社に知らせた方がよいか

(会社、つまり人材派遣会社の制裁を恐れて相談を寄せるケースが多い。)

友人及びその他の相談には次のようなものがある。

- ・ 結婚したいという友人のために手続きを教えてほしい
- ・ 友人が書類を紛失したのでその処置を教えてほしい

- ・ 会社のペル一人の運転手が自分の妻（妊娠中）を無理やり仕事に連れて行く  
うとして彼女は通りがかりの日本人に助けられた。その運転手を訴えたい  
がどうしたらよいか
- ・ 弟が無免許で運転していて交通事故にあって亡くなったが、相手の保険を利  
用できるか
- ・ 自費で借りている借家から移る際に、更に1ヵ月分の家賃相当を支払うよう求  
められて困っている  
出身国あるいは日本で音信不通になった配偶者・親類・友人の検索願ひも  
多数みられる。

4. 書類作成・生活情報提供依頼（相談件数は103件。【表15】、【表16】を参照）

書類作成についての相談には次のようなものが多い。

- ・ 出身国の土地・家屋の譲渡あるいは結婚のための委任状作成
- ・ 交通事故に係わる委任状の作り方  
生活情報の提供依頼には次のようなものがある。
- ・ 日本での生活に関するパンフレットを送付してほしい
- ・ 海外日系人協会出版のポルトガル語、スペイン語の「生活便利帳」を送付し  
てほしい
- ・ 沖縄の観光パンフレットを送付してほしい

5. 各種問い合わせ（相談件数は404件。【表15】、【表16】を参照）

各種紛失届については次のようなものがある。

- ・ 身分証明書、出身国の選挙証明書（選挙手帳）、パスポート等の紛失書類に際  
しての手続きに関する問い合わせ  
日本での生活に関する種々多様な問い合わせ・相談には次のようなもの  
がある。
- ・ 日系人相談センター、日系人雇用サービス・センター、入国管理局の住所
- ・ 大使館・領事館、日系人事務所等の住所
- ・ 日系邦字新聞、ポルトガル語・スペイン語の新聞の電話番号
- ・ 最寄りのカトリック教会を紹介してほしい

- ・ JR、ユース・ホステルの電話番号
- ・ 美術館の住所
- ・ 旅行会社を紹介してほしい
- ・ 航空機の便スケジュールとその確認について
- ・ 宅急便の夜間配達サービスの有無について
- ・ 銀行口座開設手続きについて
- ・ 住む家を探しているので紹介してほしい
- ・ アパートの契約更新をしたいが手続きを教えてください
- ・ 運転免許証の切り替えあるいは取得方法について
- ・ 自動車の保険について
- ・ 公民館の結婚披露宴についての問い合わせ
- ・ 自国への送金方法について(ブラジル銀行の電話番号)
- ・ 自国のニュース・情報がほしい
- ・ ブラジルへかける国際電話料金、出身国への電話の掛け方について
- ・ 親類と一緒に子供を帰国させたいが許可証が必要かどうか
- ・ 勉強したい、大学進学について、自動車修理を勉強したい
- ・ 日本語の能力試験や英語の検定試験を受験したい
- ・ 文部省の奨学金について
- ・ 書類(契約書等)をチェックしてもらいたい
- ・ 市の戸籍係に婚姻届を送付したが受理されたか確認したい
- ・ 祖父母の出身県まではわかっているが正しい本籍地を知りたい
- ・ 改定入国管理法について
- ・ アメリカの査証を取得したい。あるいは、その査証取得が不許可となったことについて
- ・ 外国人登録 (Alien Registration) の手続きについて
- ・ 日本やブラジルの永住権について
- ・ 会社に住民登録するように言われたのでその方法を教えてください
- ・ 日系人雇用サービス・センターに電話しても通じないというクレーム
- ・ 夏・冬期休暇中に入管が開いているかどうか
- ・ 友人は医師であるが外務省で働けるか否か

- ・ 現在もっている在留資格(日系人2世に与えられる、3年間の「定住者」及び「日本人の配偶者など」の査証)ではパチンコ店に就職できないと言われたがその真偽を確かめたい
- ・ CATLA の電話番号
- ・ 会社を設立する手続きについて
- ・ 日系人相談センターを新聞で紹介したいという外国語新聞からの依頼
- ・ 地域住民と交流したいのでブラジル料理の作り方を教えてほしい(ブラジルの日系人から)  
出身国あるいは外国に関する問い合わせや相談には次のものがある。
- ・ 出身国の選挙権を日本で行使する方法について、または帰国後の選挙権についての問い合わせ
- ・ 兵隊検査を希望するが、いかにすべきか
- ・ ブラジルの永住者は2年毎に帰国する必要があるか、または2年経っても帰国せず期限が過ぎた場合にはいかにすべきか
- ・ 出身国の年金について
- ・ Caixa Economica への所得申告について
- ・ ブラジルの銀行に保険料を振り込んだら税金がどのくらいかかるか
- ・ ヨーロッパに旅行したいがビサは必要か
- ・ オーストラリアで働きたい
- ・ ブラジルから民芸品を輸入したい
- ・ 30年前に移住した親戚に送金したいので手続きを教えてほしい(日本人から)
- ・ 日系人が亡くなったので遺族から死体消却許可を取り寄せたい

6. 子供を預けて働きたい (相談件数は4件。【表 15】、【表 16】を参照)  
子供を学校に入学させたり、保育園に預けて就労したいのでその手続きを  
教えてほしいという相談がある。

7. 日系人雇用関連(企業) (相談件数は5件。【表 15】、【表 16】を参照)  
日系人を雇用している企業などの問い合わせには次のようなものがある。

- ・ 家族を呼び寄せるための必要書類・手続き

- ・ ブラジルの日系人が観光査証で滞日しているが査証変更を申請している間就労させてよいか(日本人から)
- ・ 3か月の研修期間を終えた日系人2人を正社員にしようとしたら職を放棄して逃亡してしまったので搜索したい
- ・ 日本で働けるかどうかというスペイン国籍の非日系人からの問い合わせ

8. 弁護士の紹介 (相談件数は35件。【表 15】、【表 16】を参照)  
 弁護士を紹介してほしいという場合の多くは、就労上の問題であるが、保険、事故、離婚に伴う問題もみられる。

9. 雇用企業との問題 (相談件数は4件。【表 15】、【表 16】を参照)  
 生活面での人材派遣会社・仲介業者・雇用企業とのトラブルには次のようなものがある。

- ・ 日本まで連れてこられたが仕事も行き先もない
- ・ 約束以上に家賃を取られている
- ・ 片道の旅費が高すぎる、往復の旅費を取られている等
- ・ 会社を辞めるために家の敷金10万円を支払うように言われた
- ・ 会社から遠い寮に移された

10. 日系人に関する資料・情報依頼 (相談件数は25件。【表 15】、【表 16】を参照)  
 日系人に関する資料依頼・調査には次のようなものがある。

- ・ 大学関係者(研究者、学生)から日系人についての資料あるいは調査の依頼
- ・ マスコミ、特にテレビ局から日系人についての情報提供あるいは日系人の紹介依頼
- ・ 新聞社から日系人についての記事の送付依頼

11. 伝言 (相談件数は20件。【表 15】、【表 16】を参照)  
 各種伝言には次のようなものがある。

- ・ 賃金について日系人に伝えてほしいという雇用企業からの依頼
- ・ アルバイトから正社員にするので賃金支払方法が変わることを雇用している

日系人に伝えてほしい

- ・ 電話配線工事のために都合の良い時間帯をNTTへ伝えてほしい
- ・ 小学校に通学している日系人の子供が良く勉強しているので褒めてあげたい旨をその親に伝えてほしい
- ・ 日系人の子供のアレルギーについて親に伝えてほしいという保育園からの依頼
- ・ 車を借りたい旨を友人に日本語で伝えてほしい

1.2. その他・詳細不明 (相談件数は151件。【表 15】、【表 16】を参照)

その他の77件の主な内容は次のとおりである。

- ・ 相談センターにお世話になったので感謝の気持ちを伝えたい
- ・ 盗難にあったこと
- ・ 喧嘩に巻き込まれたこと
- ・ 警察に拘留中の友人へ差し入れしたい
- ・ 友人とのトラブルがあること(同居人が偽造テレホン・カードを使用しているが、彼が捕まると自分の身も心配だ。友人は貸したお金を返してくれない)
- ・ 宣伝広告の手続きについてサン・パウロ州立銀行(BANESPA)からの問い合わせ
- ・ ソルバイトについての相談
- ・ 第二次世界大戦中米国に強制送還されたことに対する賠償を請求する手続きについて(日系ペルー人から)
- ・ 日本人の結婚詐欺にだまされてポリピアから来日し困っている
- ・ 日本の法律文の英語版の紹介依頼
- ・ 偽装日系ペルー人が多く迷惑しているという日系人からの不満と、それへの対策の依頼
- ・ パスポート・書類を偽造する日本人がいて憤慨しているとの日本人及び日系人からのクレーム
- ・ 日本に来て仕事をしているが楽しみがなくなり精神的におかしくなりそうだと
- ・ タイの友人をブラジルに旅行させたいが日本の査証に問題があるのでいかにすべきか
- ・ 交通事故についての問い合わせ



- ・ デタラメの通訳をするペルーの日系人が職場仲間の不和を凶っているというクレーム
  - ・ 下手な通訳をして良心が許さないという非日系人(日系人配偶者をもつ)からの相談
  - ・ 日系人の女友だちが日本人上司からセクハラを受けているので対応を教えてほしい
- 相談件数の多い国別(ブラジル、ペルー、日本)に生活相談内容をみると表16のようになる

## Ⅰ Ⅰ Ⅰ . 労働問題

### 1. 賃金、罰金問題 (相談件数は198件。【表 17】、【表 18】を参照)

賃金問題については次のような相談がある。

- ・ 残業・皆勤した手当分の賃金を支給されない(具体的には月に16時間、136時間の残業等)
- ・ 約束の賞与も支給されないと訴えている相談 (この場合、口約束によるケースが多い。訴えている人の中には、雇用企業と事前の合意があるか否か、雇用企業が労働契約を遵守しているか否かも考慮せず、賞与が当然支給されるべきだとのみ考えているだけの者もみられる。)
- ・ 転職後の賃金残金調整についての相談 (賃金の閉め切り日と支払日がずれることから、就労者の退職後に調整する雇用企業が多いことによる場合が多い。ただし、口約束だけで、数カ月経っても日系人就労者の口座に振り込まれないケースもある。)
- ・ 1カ月分、3カ月分の賃金を支払ってもらえないという相談 (例えば、ブラジルに帰国した父親は残金分をブラジルの銀行に振り込むと企業から約束されたが、1カ月たっても振り込まれていない、とその子息が訴えている。)
- ・ 事前通知無しに減給されたという相談 (例えば、ある月突然時給を100円削減された等。)

罰金を課せられたという相談には次のようなものがある。

- ・ 転職、辞職に際して課せられている (旅費に対して等。例えば、1カ月前もって辞めることを通告したら60万円の罰金を課せられた等。)
- ・ 理由も説明されず罰金を課せられている (例えば、仕事がきつから辞めると通告したら20万円、25万円等の罰金を課せられた等。)

(転職・辞職するに際し、1~2ヵ月分の賃金が支給されずに罰金とされることがあるが、中には4ヵ月分の賃金に6万円を加算されて罰金として徴収された例もある。)

2. 約束違反 (相談件数は13件。【表 17】、【表 18】を参照)

約束違反には次のようなものがある。

- ・ 賃金が事前に知らされていた額より低いという相談 (例えば、時給1,300円が900円しか支給されてなかったり、月給37万円の約束が26万円しか支給されない等。)
- ・ 契約期間を守って労働したが、事前に約束した航空券が支給されない、あるいは支給されないおそれがあるという相談

3. 査証料・旅費の問題 (相談件数は22件。【表 17】、【表 18】を参照)

査証料・旅費の問題については次のようなものがある。

- ・ 査証代理手続きの手数料、旅費として罰金が課されたという相談 (例えば、2カ月分の賃金、35万円、10万円などが罰金になる等。)
- ・ 帰国した家族の分として残りの家族に罰金が課されているという相談 (例えば、兄弟の病気でブラジルに帰国した親の往復航空運賃として罰金が徴収されたり、親・兄弟の査証代理手続き手数料として罰金が徴収されたりしている。従兄弟の旅費を差し引かれている例もある。)
- ・ 罰金の返済を履行する間の保証として婚姻証明書が取り上げられているがどうしたらよいか

4. 親類・友人の労働問題 (相談件数は3件。【表 17】、【表 18】を参照)

日系人就労者の親類や友人の労働問題で日系人が相談してくる例がみられる。

5. 身元保証人 (相談件数は9件。【表 17】、【表 18】を参照)

身元保証人についての相談には次のようなものがある。

- ・ 転職で身元保証人を失うのでどうしたらよいか
- ・ 契約期間が切れても現在の雇用企業が契約を更新してくれず、新しい会社を探すまで身元保証人がいないのだがどうしたらよいか
- ・ 転職すると会社に伝えたら新しい身元保証人を探すように通告されているが

どうしたらよいか

・ 身元保証人を紹介してほしい

6. 会社倒産・人材会社社長の逃亡 (相談件数は5件。【表17】、【表18】を参照)

日系人就労者数十人に対し数カ月分の賃金を支払わないまま、人材派遣会社社長が逃亡したので困っているがいかにするべきかという相談がある(人材会社は倒産していない)。

また、会社が倒産して数カ月分の賃金が不払いとなっているのでいかにするべきかという相談もある。

7. 家賃 (相談件数は5件。【表17】、【表18】を参照)

約束以上に賃金から家賃が差し引かれているとのクレームがある。

8. パスポート取り上げ、罰金 (相談件数は61件。【表17】、【表18】を参照)

雇用会社(殆どが人材派遣会社・仲介業者)がパスポートを取り上げているという趣旨のクレームが40件もある。(パスポートを取り上げられた上、各種書類や罰金を取られている例もある。この場合、パスポート以外の書類とは身分証明書(日本の外国人登録証明書、出身国の身分保証書等)や、婚姻証明書である。)

罰金の金額及び名目は様々であるが、例えば国民健康保険料との名目で43万円も課されている例もある。

9. 事故 (相談件数は11件。【表17】、【表18】を参照)

労働中事故にあつて、怪我をしたり、腕、指を切断したので保証してもらえるかという相談。相談者には保険(社会保険、国民健康保険、旅行者保険)に加入している場合と加入していない場合がある。また、相談者が保険料を差し引かれていることから保険に加入しているものと思っていた者でも、実際には会社側が加入を怠って加入していない場合もある。

労働中事故にあった後も、きつい仕事をさせられるのでクレームを言った  
ら、解雇されたという例もみられる。

#### 10. 解雇 (相談件数は47件。【表 17】、【表 18】を参照)

解雇されたという相談や、辞める勧告を受けているという相談には次のよ  
うなものがある。

- ・ 解雇された上に人材派遣会社が借り上げている家から出るよう言われている  
のでいかにすべきか
- ・ 妻が妊娠したので夫婦ともに解雇された
- ・ 12月25日のボーナス(賞与)について会社側に聞いたのが原因で解雇された
- ・ 辞めるよう勧告を受けているが会社は残業分や、未払い分の賃金を支払って  
くれるか

#### 11. 仕事と健康 (相談件数は18件。【表 17】、【表 18】を参照)

仕事が健康を害する原因となっているのでいかにすべきかという相談があ  
るが、これは殆どの場合、会社側が状況改善の努力を怠っていることに起  
因している。

#### 12. 辞職 (相談件数は23件。【表 17】、【表 18】を参照)

辞職にともなう相談には次のようなものがある。

- ・ 帰国等の理由で仕事を辞めたいが事前(1カ月前)に会社に通告した知人が2日  
以内に辞めさせられた前例があるのでいかにすべきか
- ・ 辞めたいという意志は会社に伝えない方が良いか
- ・ 仕事を辞めたいが罰金を取られるのではないか不安
- ・ 仕事がきつくて辞めたいが家(会社が借りている)を追い出されるのではな  
いかと心配
- ・ 会社を辞めたいが、身元保証人となっている会社側から辞めたら入管で査証  
を取り消すと脅されているので不安
- ・ 転職したいが一緒に働いている長男が解雇されそうなのでいかにすべきか

- ・ 一日4時間の残業がなくなったので不満を訴えると、会社側からそれならば辞めても構わないと言われているがいかにするべきか
- ・ 良い仕事が見つかったので今の仕事を辞めたいが会社には1カ月前に知らせる必要があると聞いているし、かと言って1カ月も待てば新しい仕事がなくなるのでいかにするべきか
- ・ 仕事が気に入らなく辞めて出ていったら強盗として訴えられているのでいかにするべきか
- ・ 転職したいが何日前に会社に通告すればよいか

### 1 3 . 家族 (相談件数は3件。【表 1 7】、【表 1 8】を参照)

無断で家族を呼び寄せたが人材派遣会社に話すべきか、あるいは子供が生まれるが会社に話すと解雇されるのではないかと不安だ、という例などがある。

### 1 4 . 雇用企業との問題 (相談件数は88件。【表 1 7】、【表 1 8】を参照)

会社・人材派遣会社とのトラブルには次のようなものがある。

- ・ 身元保証金が高すぎる
- ・ 権利金を取られすぎている
- ・ 妊娠しているが出産休暇中の3カ月分の賃金が支給されるか
- ・ 保険証書が取り上げられている
- ・ 契約と違い雇用企業はきつい仕事をさせる
- ・ 一週間以内に家から出るように勧告を受けている
- ・ 人材派遣会社を辞め会社の直接雇用になったが、その人材派遣会社から労働省に通告して帰国させると脅かされている
- ・ 家の壁の修理費として13万円も取られている
- ・ 賃金から様々な名目で差し引かれている
- ・ 会社が約束に反して査証の更新手続きをしてくれず査証の期限が切れそうで困っている
- ・ 勤務先の変更を言い渡されたので困っている

- ・ 一年間の契約で拘束されている
- ・ 仲介料を差し引かれている
- ・ 派遣会社に書類 (documentos) を取り上げられ嫌がらせをされている
- ・ ブラジルに帰りたいので航空券を購入したが帰国させてもらえない (来日7カ月目)
- ・ 航空券を取り上げられて会社と問題になっている
- ・ 旅費として多額 (48.2万円など) 差し引かれており会社との間で問題になっている
- ・ 会社が税金として賃金から差し引いていたが税金が納められていないことがわかったのでいかにすべきか
- ・ 税金として賃金から過大に差し引かれていることについてのクレーム及び対処法

(これらの相談については、日本の税が高く感じられたり、賃金から様々なものが差し引かれるため、日系人就労者にとっては過大に差し引かれていると感じられたりする場合もあって、人材会社側にだけ非があるとは必ずしもいえない。すなわち、上記2点は認識の問題であるが、いずれにせよ、雇用者側とのコミュニケーションがうまくいっていないか、雇用者側からの情報提供が少ないことにより根本的な原因がある。ただし、他の点に関する限り、明らかに雇用者側に責任があると思われる。)

#### 1.5. その他・詳細不明 (相談件数は103件。【表 17】、【表 18】を参照)

その他の相談は32件で、内容は次のようなものがある。

- ・ 査証更新用の在職証明書に記載されている賃金額が実際支給されている額よりも多くなっているのはなぜか
- ・ 入社時に保証金として会社に金を預けさせられているが正当か
- ・ 労働基準が明確でない
- ・ 帰国するために賃金の前払い (つまり早期清算) をしてもらえるか
- ・ 正社員になるにはどうしたらよいか
- ・ 仲介業者を通じて来日しているが、仕事を紹介してもらえず宿舎代、食費だけ取られてる

- ・ 片道の航空運賃が高い(航空券の表示では1,950ドル、つまり1ドル132円のレートで換算すると259,400円なのに実際には36万円取られている) などのクレーム
- ・ 労働組合を結成したいので助言を求めたい  
これまで述べた労働問題についての相談を国別(相談件数の多いブラジル出身者、ペルー出身者、日本人についてのみ)にみると表18のようになる。



## I V . ボランテニア等

### 1. 日系人からの相談、ボランティア活動希望

(相談件数は14件。【表 19】、【表 20】を参照)

日系人からの相談を受けると申し出ている人は9人、また日系人のためにボランティア活動したいと申し出ている人は5人いる。

### 2. その他・詳細不明 (相談件数は6件。【表 19】、【表 20】を参照)

その他には3人の日本人が含まれる。また、詳細不明ながら同項目に日系ブラジル、日系ペルー人らが含まれていることから、日系人からの相談を受けたい、または日系人のためにボランティア活動をすることを希望している人が日系人自身の中にもいることがわかる。

ただし、国別にみると当然ながら殆どが日本人である。

## Ⅴ． 求人

### 1． 日系人雇用希望 （相談件数は17件。【表 2 1】、【表 2 2】を参照）

日系人の雇用を希望する業者からの相談、問い合わせがある。製造業者が多いが、建設関係、食品加工業者、酪農業者からの問い合わせもある。しかも雇用を希望しているのは日本人が多いことはさることながら日系ブラジル人からの問い合わせもあることがわかる。これは、通訳・翻訳の仕事に従事している日系人が企業のために問い合わせていることの反映でもあるが、中には日本の企業に日系人を斡旋、紹介することもある。

### 2． その他・詳細不明 （相談件数は10件。【表 2 1】、【表 2 2】を参照）

その他は1件、詳細不明は9件であり、前者には、日系人を募集しているので宣伝のために企業のパンフレットを送付したいという内容である。

## Ⅴ Ⅰ . 求 職

### 1. 子供の就労希望、良い条件の仕事希望

(相談件数は26件。【表 23】、【表 24】を参照)

子供の就労希望相談の内容は次のとおりである。

- ・ 義務教育年齢(13才)だが仕事をしたいという子供からの問い合わせ、およびその母親からの相談  
転職を希望し、現在の仕事より条件の良い仕事を紹介してほしいという相談の主な内容は次のとおりである。
- ・ 夫婦で働ける場所を紹介してほしい
- ・ 現在アルバイトしているためより良い条件の職場斡旋願
- ・ 短期間雇用してくれる職場を紹介してほしい(特に、査証更新の期間必要なため)
- ・ 現雇用主に身に覚えのない罰金を課せられて、莫大な旅費をとられているから転職したい
- ・ 現在の雇用企業が契約を更新してくれないので、新しい職を紹介してほしい
- ・ 会計士等の事務系の仕事、ジャーナリスト等の専門的な仕事がしたいので紹介してほしい

### 2. その他・詳細不明 (相談件数765件。【表 23】、【表 24】を参照)

内容が多様なため上記内容に当てはまらないその他の相談・問い合わせは57件ある。主な内容は次のとおりである。

- ・ 親類・縁者・友人のための仕事探し
- ・ 職業安定所へ行ったが受け付けてもらえなかった
- ・ 雇用サービス・センターで年齢的(49才)に仕事を探すのは難しいといわれた  
また、詳細不明の相談は708件だが、その殆ど全部は職種を問わない就職先の紹介希望である。

(表24は、求職者をブラジル出身者、ペルー出身者、および日本人に分けたものである。在日日系人人口比あるいは相談者比からみるとブラジル出身者に対しペルー出身者はかなり少ないはずである(相談者数比では、

約3.3:1)。ところが、求職者数ではペルー出身者がかなり多くなっていることがわかる(約2.4:1)。

## V I I . 査証関係の相談

### 1. 4世の査証、帰国せずに査証を更新する可能性

(相談件数9件。【表25】、【表26】を参照)

子供(4世)が生まれるが査証取得できるかどうか、子供(4世)を出身国から呼び寄せたいが査証は許可されるか、という問い合わせがある。

また、査証の滞在期間が切れても帰国せずに査証を更新できるかという問い合わせがある。(具体的には、ブラジル出身の日系人2世で現3年の滞在査証が切れたときを想定した問い合わせ等)

### 2. 身元保証人探し (相談件数は6件。【表25】、【表26】を参照)

契約が終わって新しい職を探しているが査証更新のために新しい身元保証人を探しているので紹介してほしいという依頼や、転職するために新しい身元保証人を紹介してほしいという依頼がある。

### 3. 親類・友人の査証のための相談 (相談件数は96件。【表25】、【表26】を参照)

親、子供、親戚、友人の査証の件に関する相談としては、査証の変更に関する問い合わせ・相談が多く、主な内容は次のようなものがある。

- ・ 妻子の査証の期限が間近にせまっているのでいかにすべきか
- ・ 雇用企業が雇用して呼び寄せた日系人のために査証手続きをしたい
- ・ ベルギー出身者の母子が査証の件で入管の出張所から受けた対応に不満をもっているのでクレームを伝えたい
- ・ 書類不備で入管に連れて行かれて戻らないコロンビア人の身を安じている日系人から寄せられた相談

### 4. 超過滞在について (相談件数は20件。【表25】、【表26】を参照)

超過滞在、つまりオーバーステイについての相談には次のようなものがある。

- ・ 本人の意志とは無関係に超過滞在させられている(人材派遣業者がパスポートを取り上げた上に査証の更新手続きをしてくれず期限が切れた、企業が

- 更新手続きをせず警察からパスポートを取りに来るように言われている等)
- ・ 生き倒れの日系人を現在世話しており、帰国旅費をつくる機会を見つけてあげたいが、超過滞在になっているのでいかにすべきか(日本人からの問い合わせ)

5. 二重国籍・帰化について (相談件数は23件。【表25】、【表26】を参照)

二重国籍の取得・帰化の手続きについての問い合わせ・相談は23件ある。帰化希望者の中には日本語が不十分であると言われ許可されなかったが、知人で日本語が殆どできない人でも帰化できたとクレームを言っている者もいる。

6. 査証更新・変更、再入国手続き (相談件数272件。【表25】、【表26】を参照)

再入国査証取得希望者は54人いる。これには、家族の再入国査証を希望しているケースも含まれる。

査証更新時に入管で書類の不足や、不備を指摘されて、断られた者は38人いる。相談内容は次のようなものである。

- ・ 祖父母、父母の同棲証明書(Acta de Convivencia)、事実証明書の取り寄せ
- ・ 日本滞在1年3カ月で、出生証明書(本人、母親、祖父の分)の翻訳が証明されたもの(autorizado)でない
- ・ オリジナルに証明印(sello)がないと言われ断られたが、本人はペルーの地方(Provincia)出身者で署名以外のものはないと説明したが聞き入れてもらえなかったという相談
- ・ 戸籍に載っている名前とその他の書類に記入されている同一人物の名前(スペイン語の綴りなど)が違うので断られた
- ・ 出生証明書と戸籍謄本の名前が違う(日本語名とスペイン語名等)ので断られた
- ・ 祖父の戸籍と死亡届の日付が違うので相談したい  
必要書類が揃えきれなかった相談は5件あり、その内容には次のようなものがある。
- ・ 査証の更新を申請しているが、取り寄せ中の各種証明書が遅れているので、入管で一度延長してもらったが再度できるかどうか

- ・ 指定日までに書類が届かない恐れがあるため手続きが間に合わない場合はいかにすべきか
- ・ 複雑な手続きをしているうちに査証の期限が切れそうだが、いかにすべきか  
査証の更新・変更に必要な証明書・手続きについての問い合わせ、及び揃えた書類をチェックしてほしいという依頼・相談は137件で、その主な内容には次のようなものがある。
- ・ 結婚で姓が変わったが新しい姓で申請すべきか
- ・ 定住査証の申請で婚姻証明書のオリジナルが必要なので税関に提出済みの婚姻証明書のオリジナルを取り戻したい
- ・ 定住査証への変更手続きについてのフィリピンの日系人からの問い合わせ  
日系人の配偶者を持つ非日系人の査証取得・更新・変更に必要な証明書、手続きについての問い合わせ・相談は38件ある。これには、出身国から配偶者を呼び寄せたいという相談、結婚で姓が変わったため査証を変更したいという相談がある。

7. 各種証明書の取り寄せ方法 (相談件数は24件。【表25】，【表26】を参照)  
各種証明書の取り寄せ方についての問い合わせの殆どは、戸籍謄本など査証取得に必要な書類に関するものである。この種の相談が1月分が多いことは留意に値する。

#### 8. APPLICATION (申請中)について

(相談件数は28件。【表25】，【表26】を参照)

入管でAPPLICATION (査証更新申請中)の捺印をされて、結果がでるまでの間不安定な状況におかれる場合が、ペルー出身者を中心に多くみられる。中には、この身分ではいつ不許可となり帰国させられるかわからないとして、企業から雇用を拒否される例もあり、彼らは仕事も収入もない状況におかれる。かかる状態が長引くと経済的にだけでなく、精神的に不安定になる者もある。

9. 身元保証人になることを希望 (相談件数は3件。【表25】、【表26】を参照)  
身元保証人になることを希望するブラジル出身日系人2人、日本人1人から、その手続きについての問い合わせがある。

10. その他・詳細不明 (相談者数は57件。【表25】、【表26】を参照)  
査証関係の問い合わせ・相談で上記以外のものが29件ある。主な内容は次のとおりである。

- ・ 結婚証明書の日付が子供の誕生日より遅いので入管に同棲証明書を請求されているがどうすればよいか
  - ・ 二重国籍・帰化の手続きをしたらブラジルの戸籍が抹消されたがどうすればよいか
  - ・ 在留資格認定証明書が必要である
  - ・ 行政書士を紹介してほしい
  - ・ 査証の有効期限が切れているが日系人の夫は離婚したいと言っているのどうすればよいかという非日系人の妻からの問い合わせ
  - ・ パスポートを紛失した上、査証の有効期限が差し迫っているのどうすればよいか
  - ・ パスポート更新に伴う査証の取り扱いについての問い合わせ
  - ・ 同姓同名の人が査証を更新していて本人はできないと言われたがどうにかできないか
  - ・ 母の出生証明書について
  - ・ 住所が変わったので入管に届け出る必要があるかどうかの問い合わせ
- 記述項目について相談者数の多い国別(ブラジル、ペルー、日本)にみると表26のとおりである。査証変更時の書類不備への対応、入管で査証更新・変更のときに捺される application(申請中)についての問い合わせ・相談を寄せているのは日系人人口比及び絶対数でもペルー出身者が多くなっている。



## V I I I . 税金に関する相談

### 1. 税金一般 (相談件数は39件。【表 27】、【表 28】を参照)

税金一般の相談には税金の返還手続き、換算表についての問い合わせがある。ここには、住民税と所得税の区別がつかない税金に関する相談も含まれる。

### 2. 住民税・所得税 (相談件数は30件。【表 27】、【表 28】を参照)

住民税に関する問い合わせ・相談は15件だが、主な内容は次のとおりである。

- ・ 住民税の申告方法について
- ・ 人材会社に高額な住民税が差し引かれているが、普通の税金額かどうか
- ・ 人材会社を通じて税金が本当に納入されているかを確認したい
- ・ 住民税の徴収票が届いたが納入する必要、義務はある

所得税についての問い合わせ・相談は15件だが、主な内容は次のとおりである。

- ・ 賃金から毎月12%差し引かれているがその比率は正しいか
- ・ 所得税の返還方法について(子供がいるが扶養家族として控除されるか、など)

### 3. その他・詳細不明 (相談件数は30件。【表 27】、【表 28】を参照)

その他には16件だが、主な内容は次のとおりである。

- ・ 出身国への送金に対する課税について
- ・ 以前働いていた会社では納税していたが、数年経っても税務署から何の知らせもないがどういうことか
- ・ 高額な税金徴収票が届いたが、生活が苦しく納入できないのでいかにすべきか
- ・ 20%の税金を差し引かれているというクレーム

税金に関する相談を国別にみると、表28のとおりブラジル出身者が圧倒的に多いことがわかる。

## I X . 医療に関する相談

### 1. 各種問い合わせ (相談件数は3件。【表 29】、【表 30】を参照)

各種問い合わせ・相談には次のものがある。

- ・ 妊娠しているが経済的事情により中絶したい
- ・ ソーシャル・ワーカーをしているが、病気の日系人に同じ病気をもつ人を紹介したい

### 2. 怪我・事故 (相談件数は13件。【表 29】、【表 30】を参照)

労働中の怪我・事故の問い合わせ・相談には次のものがある。

- ・ 工作中怪我、事故(指、腕の切断等)にあったので対処方法を教えてほしい
- ・ 工作中怪我したが保険はでるのか教えてほしい

仕事外での怪我・事故の問い合わせ・相談には次のものがある。

- ・ 仕事外で怪我、事故にあった、保険はないので対処方法を教えてほしい
- ・ 仕事外でボールが目当たり怪我したが、旅行者保険に加入しており対処方法を教えてほしい
- ・ 病気で休職している間は賃金をもらえるか
- ・ 病気で入院している間に解雇され、200万円の医療費が重なっているが対処方法を教えてほしい

### 3. 医療生活扶助について (相談件数は8件。【表 29】、【表 30】を参照)

医療生活扶助関係の問い合わせ・相談には次のものがある。

- ・ 国民健康保険に加入している兄は、高血圧で倒れ手術したがもう仕事はできなくなったのでその処遇について教えてほしい
- ・ 毒薬を飲まされたと思い込んでいる被害妄想の日系人友人がいるがその処遇について教えてほしい

### 4. 親類の怪我の相談 (相談件数は4件。【表 29】、【表 30】を参照)

親類の怪我に関する相談には次のものがある。

- ・ 妻がアレルギーになったが保険がないため対処方法を教えてほしい

- ・ 子供のアレルギーについて
- ・ 予防接種について出身国言語(ポルトガル語)で書かれたパンフレットを送付してほしい

5. その他・詳細不明 (相談件数は32件。【表 29】、【表 30】を参照)

その他には28件ある。その内容は次のとおりである。

- ・ 医師を紹介してほしい
- ・ ポルトガル語、スペイン語の通じる医師を紹介してほしい
- ・ 病気で辞職し入院しているが健康保険に加入していないので帰国した方がよいか否かを教えてほしい
- ・ 日系人より enxaqueca なる病気だが、日本語では何と言うか教えてほしい  
(片頭痛のこと)
- ・ 交通事故にあって入院しているが、ブラジルに帰国後自動車強制賠償保険で転院できるか否かを教えてほしい

## Ⅹ．日本語（学習・通訳・翻訳）に関する相談

### 1．学習希望（相談件数は35件。【表 31】、【表 32】を参照）

日本語学習希望者の問い合わせ・相談には次のものがある。

- ・ 学習したいので学校を教えてほしい

### 2．通訳・翻訳の仕事希望・依頼希望（相談件数は89件。【表31】、【表32】を参照）

通訳・翻訳の仕事希望者の相談には次のものがある。

- ・ 通訳・翻訳したい
- ・ 日系ブラジル人だが、日系人向けの日本語会話の本を出版したい

通訳・翻訳の仕事依頼したい者は86人いるが、その相談には次のものがある。

- ・ 運転免許証、出生証明書、婚姻証明書の翻訳を依頼したい
- ・ 裁判所に出頭するように言われているので通訳の仕事依頼したい
- ・ 日本語で書類を作成したいので翻訳者を紹介してほしい

### 3．日本語を教える（相談件数は6件。【表 31】、【表 32】を参照）

日系人に日本語を教えたいという者は6人いる。

### 4．その他・詳細不明（相談件数は14件。【表 31】、【表 32】を参照）

その他、13人からは次のような問い合わせが寄せられた。

- ・ 「ポルトガル語、スペイン語でいう～は日本語で何と表現するか」教えてほしい

相談者数の多いブラジル、ペルー、及び日本についてみると表32のとおりであるので同表を参照されたい。

## X I . 保 険 ・ 年 金 に 関 す る 相 談

### 1. 事故・怪我 (相談件数は48件。【表 33】、【表 34】を参照)

労働中の事故・怪我に関する相談には次のものがある。

- ・ 労働中に事故・怪我をしたので労災を受けたい
- ・ 労働中に事故にあい指を切断したが旅行者保険に加入しているのでその手続きを教えてほしい
- ・ 1年前だが労働中に事故・怪我をしたので帰国する前に労災を受けたい
- ・ 労働中に手・指を切断したが保険を受けられるかどうか教えてほしい
- ・ 出勤する途中会社の送迎バスが事故にあつて日系人就労者数人が怪我をして入退院を繰り返しているが、企業との問題、保険の問題の解決方法を教えてほしい

仕事外での事故・怪我についての相談には次のものがある。

- ・ 街路に垂れ下がっていた電線に引っ掛かつて事故にあい、急遽保険に加入したが保険を受けられるかどうか教えてほしい
- ・ 仕事外で交通事故にあつたがいかにすべきか教えてほしい

### 2. 保険についての各種相談 (相談件数は51件。【表 33】、【表 34】を参照)

保険についての各種相談には次のものがある。

- ・ 高額国民健康保険料を請求されており、いかにすべきかを教えてほしい  
(具体的な例として、扶養家族2人で昨年36,000円であった保険料を今年は252,000円も、雇用企業である人材派遣会社から請求されている)
- ・ 国民健康保険に加入したく市役所へ行ってその旨伝えたら断られたがなぜか教えてほしい
- ・ 保険が適用できるものについて教えてほしい
- ・ 保険は予防接種、妊娠にも適応可能か
- ・ 本人・家族のために保険への加入を希望しており加入方法について教えてほしい
- ・ 保険についての資料がほしい
- ・ 日系人を雇用しているが、彼らは保険に加入したがるないのでいかにすべきか教えてほしい

(厚生年金も差し引かれるので社会保険に加入したがない日系人就労者が多くみられる。短期就労の形で来日している日系人は払い込んだ年金を受けられないためである)

- ・ 社会保険に加入するので厚生年金を払いたくない、払わないといけないか
- ・ 厚生年金を払いたくない、社会保険を払いたくない
- ・ 社会保険を解約したい
- ・ 社会保険と厚生年金を差し引かれているが、これは正しいか

### 3. その他・詳細不明 (相談件数は58件。【表 33】、【表 34】を参照)

その他は36件で、次のものがある。

- ・ 医療費を立て替えていたので病院あるいは歯科医の領収書をもらい人材派遣会社に返済してもらおうとしたが、取り合ってくれないのでどうすればよいか教えてほしい  
(具体的には、人材派遣会社を介して保険料を納めているのだが医師・病院の領収書をもっていても医療費の返済に応じてくれない)
- ・ 交通事故にあったのでいかにすべきか教えてほしい
- ・ 怪我で立て替えていた保険料が返済されたので日系人就労者に返済したいが、本人は事前通告なしで職を辞め見つからないので、いかにすべきか
- ・ 義歯を入れたいが保険は適用できるか
- ・ ブラジルにいたときから病気にかかっているが、日本の保険をさかのぼって保険金もらえるか
- ・ 兄弟が死亡したので保険を適用できるか
- ・ 失業保険を受けるにはどうすればよいか
- ・ 一時帰国するが加入している保険はどうすればよいか
- ・ 保険にまだ加入していないが子供が生まれるので保険を受けられるか
- ・ 父親が心不全( *insuficiencia cardiaca* )で死亡したので社会保険を受けたい
- ・ 保険の支払いを怠っていたが、利用したいので支払いを再開したいのでいかにすべきか

相談者の多い国別にみると表34のとおりとなる。

## X I I . 教育に関する相談

1. 保育園・幼稚園関連 (相談件数は9件。【表 35】、【表 36】を参照)  
本人・友人の園児のための相談が9件である。その内訳は、ブラジル出身者5件、ペルー出身者3件、及びその他1件で、例えば、次の苦情がある。
  - ・ 幼稚園費は高い
2. 小学校・中学校関連 (相談件数は4件。【表 35】、【表 36】を参照)  
小学校関連の相談は3件で、次のものがある。
  - ・ 日本で勉強して帰国後自動的に次学年につづけられるか  
中学校・中学生についての問い合わせは1件ある。
3. 大学関連 (相談件数は3件。【表 35】、【表 36】を参照)  
大学関係の相談3件はブラジル出身者からのもので次のようなものがある。
  - ・ 大学に進学したい
4. その他・詳細不明 (相談件数は9件。【表 35】、【表 36】を参照)  
その他は7件で、全てブラジル出身者からの次のような相談である。
  - ・ 学校を紹介してほしい
  - ・ 日本での学校教育費はどれぐらいか
  - ・ 日本の日本語学校の種類・費用に関するサンパウロからの問い合わせ
  - ・ 娘はブラジルの歯科医資格を有するので日本でもその資格を活用したい
  - ・ 女性の友人が獣医学を勉強したいと言っているがいかにするべきか  
相談者の多い国別にみると表36のようになる。

## X I I I . 帰国

### 1. 帰国一般 (相談件数は9件。【表 37】、【表 38】を参照)

帰国一般に関する相談には次のものがある。

- ・ 帰国するので旅行会社を紹介してほしい
- ・ 職がみつからないので帰国したい

### 2. 財産証明書について (相談件数は27件。【表 37】、【表 38】を参照)

財産証明書についての相談は全てブラジル出身者からで、次のものがある。

- ・ 財産申告書・証明書(declaração de bens)について教えてほしい
- ・ 荷物一覧表(lista de bagagem)について教えてほしい

### 3. 一時帰国について (相談件数は3件。【表 37】、【表 38】を参照)

一時帰国についての相談は全てブラジル出身者からで、例えば、結婚のための一時帰国などがある。

### 4. その他・詳細不明 (相談件数は38件。【表 37】、【表 38】を参照)

その他は32件で、次のものがある。

- ・ 帰国したいので雇用企業に通告する必要があるか (友人は帰国するにあたり事前に通告したら2日後に解雇された)
- ・ 帰国するため雇用企業は賃金の残高を出身国の銀行宛に振り込むと言っているが、信用できるか
- ・ 自動車を持って帰国したいが、手続きはどのようなものか
- ・ 自動車・オートバイを送りたいが手続きはどのようなものか
- ・ ブラジルに様々なものを持って帰りたいが手続きはどのように行われるか
- ・ 本人・家族が病気のため帰国したい
- ・ 帰国のため航空券を予約したが指定日にいけなかったので罰金(5万円)を課せられた。こんなことを2回繰り返しているがこの罰金は返済されるか
- ・ 既婚のペルー人が結婚後の査証をもたないため飛行機に乗れないがどうすべきか ・ 帰国用の航空券を発行している旅行社は信用できるかどうか調べてほしい

相談者の多い国別にみると表38のようになる。



## ⅩⅠⅤ． 相談に対する対応

### 1. 紹介先機関 (1,463件。【表 39】を参照)

日系人就労者(日系人、あるいは日系人の配偶者でない非日系人からの電話相談も少数ながらみられる)の相談3,044件に対する相談センターの対応をみると、次のようになる。

- ・ 日系人雇用サービス・センターを紹介する件数が738件
- ・ 入国管理局のインフォメーション・センターを紹介する件数が111件
- ・ 外国人労働者相談コーナーを紹介する件数が271件
- ・ 関係各県あるいは市の国際交流協会を紹介する件数が28件
- ・ 関係各国大使館を紹介する件数が269件
- ・ 労働基準監督署を紹介する件数が46件

### 2. その他・詳細不明 (1,579件。【表 39】を参照)

その他は1,579件中1,014件で、次のようなものがある。

労働問題・訴訟問題ではC A T L A(ラテンアメリカ系労働者を支援する会)、医療問題では民間医療支援組織A M D A(国際医療情報センター)、税金問題では市役所、紛失届けでは警察、また、ボランティア団体、カトリック教会の団体、カトリック国際協力委員会等である。さらに、問い合わせの内容に応じ、美術館、靖国神社等の住所を教えたり、翻訳・通訳を紹介している。

その他にも相談センターは必要に応じ日系人就労者に適宜アドバイスをを行っている。

最後に、その他と詳細不明にも分類不可能な2件がある。

## ⅩⅤ． 相談方法

表40の通り、相談方法としてはまず電話2,436件があり全体の80.0%を占める。

また、来会は36件、手紙あるいは FAX は31件で、詳細不明も541件ある。

## おわりに

相談センターに寄せられた相談内容(主に日系人就労者からの相談について)を分類、統計化、分析した結果、調査チームとしていくつか気づいた点があるので、以下、推測を交えつつそれらを取りまとめておきたい。

現在日本には、ラテンアメリカ諸国を中心に日系人(日本人、日本人の子孫と配偶者)人口の多い諸国から約20万人(1992年末推計)が就労目的で来日している。血統主義による国籍の付与を原則とする日本では、従来は1世、つまり日本国籍を有する者のみが就労を許可されていたが、1990年6月1日に入管法(出入国管理及び難民認定法)が改正され、3世までが就労可能な在留資格で入国できるようになった。(但し、2世で3年まで、3世で1年までと期間に制限がある上、選挙権などの完全な市民権が付与されてはおらず、西欧諸国、とりわけイタリアやスペインなどと比べ未だ不十分な点が多い。)かかる事情と、「はじめに」で指摘した日本及びラテンアメリカ諸国の経済的事情を背景に、日系人就労者は増加を続けているのが現状である。

日系人就労者は生活面、就労面、査証更新・変更の面を中心に様々な「問題」をかかえており、とりわけ就労面においては、日本経済の低迷の影響もあって求職や労働問題に関連した相談を多く寄せている。

本来ラテンアメリカの人々は財団法人にも行政機関にも相談する習慣はもたず、むしろ友人などの親しい人か、個人的つながりがありをもち信頼できる人を頼る傾向が強い。したがって、相談センターという公的機関に相談を寄せるということ自体、日系人が日本的な側面は持ち合わせながら日本という異国、異文化に接しつつも、日本について、あるいは日本での生活について正確かつ適切なアドバイスをしてもらえる友人をもたないことを物語っている。また、7カ月という半年余りの期間に3,044件もの相談が寄せられた事実から、相談センターが日系人就労者に信頼された機関であることがわかる。さらに、同相談センターは日系人就労者と日本社会を結ぶ橋(連結機関)の役割を果たしつつ、彼らの生活を手助けして、日本社会への統合(integration)を円滑に進めることに貢献していると言える。

具体的分析に移ると、日系人からの相談内容を検討した結果、次の諸点が明らかになった。

相談を寄せる日系人は若い世代(20代から30代前半)が多く、また在日日系人の出身国別人口構成と相談者のそれを比べると、ブラジル出身者よりもペルー出身の方が相談者の割合が大きいことがわかる。すなわち、在日日系人人口の14%というペルー出身者の割合は、相談者では23%(相談数3044件から日本人と詳細不明を除いた2,731件中616件)に上昇しており、ブラジル、アルゼンチン、ポリビア、パラグアイ出身者に比べ彼らの方が多くの問題に直面していると言える。また、在日期間が1年未満の就労者からの相談が過半数を占めているため、相談するのは来日間もない適応初期に多いこともわかる。

日系人127人については、日本での職業・職場、就労する経済部門、あるいは失業中か否かの詳細がわかる。このうち14%(18人)強の失業者がおり、また転職を考えているか希望している人は全体の22.2%(相談件数3,582の内の791人)にのぼっている。この背景には、日本の景気後退にともなう賃金や残業の減少の問題に加えて、労働問題、雇用企業(斡旋業者・派遣業者)との問題(殆どの場合には雇用企業側だけに問題がある)が存在しており、そこで、必然的に転職希望ということになるのである。

また、査証の更新に関する相談は相談件数全体の15%(538件)とかなり多く、しかも、ペルー出身者が高い割合を占めている(ブラジル出身者は相談件数2,432件中302件で12.4%、ペルー出身者は729件中152件で20.9%)。そこには、多数にのぼる偽装日系ペルー人に対して更新手続きを厳しくしている入管の姿勢が鋭く反映されている。但し、偽装日系ペルー人の方は書類をしっかりと揃えているのに対し、偽装でない日系人はペルーの状況と敗戦後の日本の状況(ペルー出身者の多くは激戦地となった沖縄県出身の祖父母をもち、また戦争中に戸籍謄本等を焼却あるいは紛失した者もかなり多い)から書類に不備があり、入管で査証を更新されない場合が続出しており、かかる不合理な状況の存在は多くの日系ペルー人から指摘され、その改善を切望する声が次第に高まりつつある。

税金、医療サービス、保険・年金に関する相談はそれぞれ99件、60件、157件あり、このうち保険及び医療については、雇用企業における福利厚生制度の不備

が最大の原因になっている。

学校教育、及び帰国に際しての相談もそれぞれ25件、77件あるが、日本での子供の教育に関する問題は今後も増加するものと考えられる。

地域別にみると、相談は秋田県と鳥取県を除く全ての都道府県から寄せられていることがわかる。首都圏からの相談が多いのはともかく、地方からも相当数の相談があることは、地方では相談できる場所がないか、日系人就労者に知られていないかのいずれかであることを裏付けている。

相談センターがある程度日系人と日本社会の接点になっているということは既に指摘したが、このことは、日系人を雇用したい、あるいは雇用しているという企業からの相談(20社)、日本人でボランティア活動をしている、あるいはそれを希望している18人(ブラジル、ペルー両国出身者を合わせると20人)からの相談の数からも推察できるであろう。

日系人就労者が相談センターに寄せる相談内容からわかるのは、社会保障が労働者とその家族にとって生活条件の必須な部分であるにもかかわらず(注1)、これが充分でないことにより、労働保護をはじめ医療・教育・住宅・法的正当性(在留資格)など種々の分野において就労・生活にともなう困難な問題が発生しているということである(注2)。特に、医療、保険面では就労者の生命にかかわる深刻な問題も生じているため、かかる状況が緊急に改善されなければ、在日中の就労者が憲法で保証される人間としての生活を営むことはできないし、種々の問題を解決することもできないのである。(ちなみに1世は日本人、2、3世は外国人)

最後に、「最終学歴」にみるように日系人就労者の学歴は高く、大学教育を受けた者(未卒業者・退学者含む)は25%から35%程度を占め、また専門学校で専門教育を受けた者も数多くにのぼっている。したがって、日本へのデカセギは送出国にとっては大きな頭脳流出を意味し、実際、計り知れない経済的・社会的損失を与えている(注3)。勿論、短・中期的にみれば、デカセギ自体は対外債務や経済停滞に見舞れる送出国にしてみれば外貨獲得源になるし、実質失業者が増加し雇用機会の拡大が困難な送出国の現状においては社会的圧力の緩和につながっており、最終的には経済危機の克服に寄与するという期待さえできるだろう。しかし、長期的観点からみるならば、送出国の経済・社会開発にとってデカセギは人的資

源の重大な損失であることは間違いない。

したがって、在日中の日系人就労者に対して、日本政府・民間企業が技術研修の機会を与え、かつ帰国後も継続支援を実施することは、今後の日本の国際協力にとって必要かつ有効な政策手段と成り得ると考えられる。

(注1) 鈴木宏昌「外国人労働者と平等待遇の原則」『季刊労働法』164, 1992:11

(注2) 後藤勝喜「外国人労働者と労働関係法規の適用」『季刊労働法』164,  
1992:16

(注3) 「デカセギ」という用語はポルトガル語(dekassegui)及びスペイン語(dekasegui)になっており、これを翻訳してデカセギ、つまり外来語として「デカセギ」を用いる。その理由は日本国内の「出稼ぎ」と共通する点はみられるものの、異なる点が多いからである。まず、一時的で短期就労を目的として地理的に移動する点では両者は類似しているが、国内出稼ぎにみられる季節労働者の面はない。彼らは季節に関係なく海外から来日する。さらに、1世は日本の文化を継承・再解釈しているが、多数を占める2世、3世は価値体系などの文化的な違いを有している。また、ペルーを中心に形質的にも現代の一般的な日本人との違い(混血の度合いが大きいほどそうであるようだ)がみられるため漢字で表す「出稼ぎ」ではなく「デカセギ」を用いるのである。

# 資 料 編

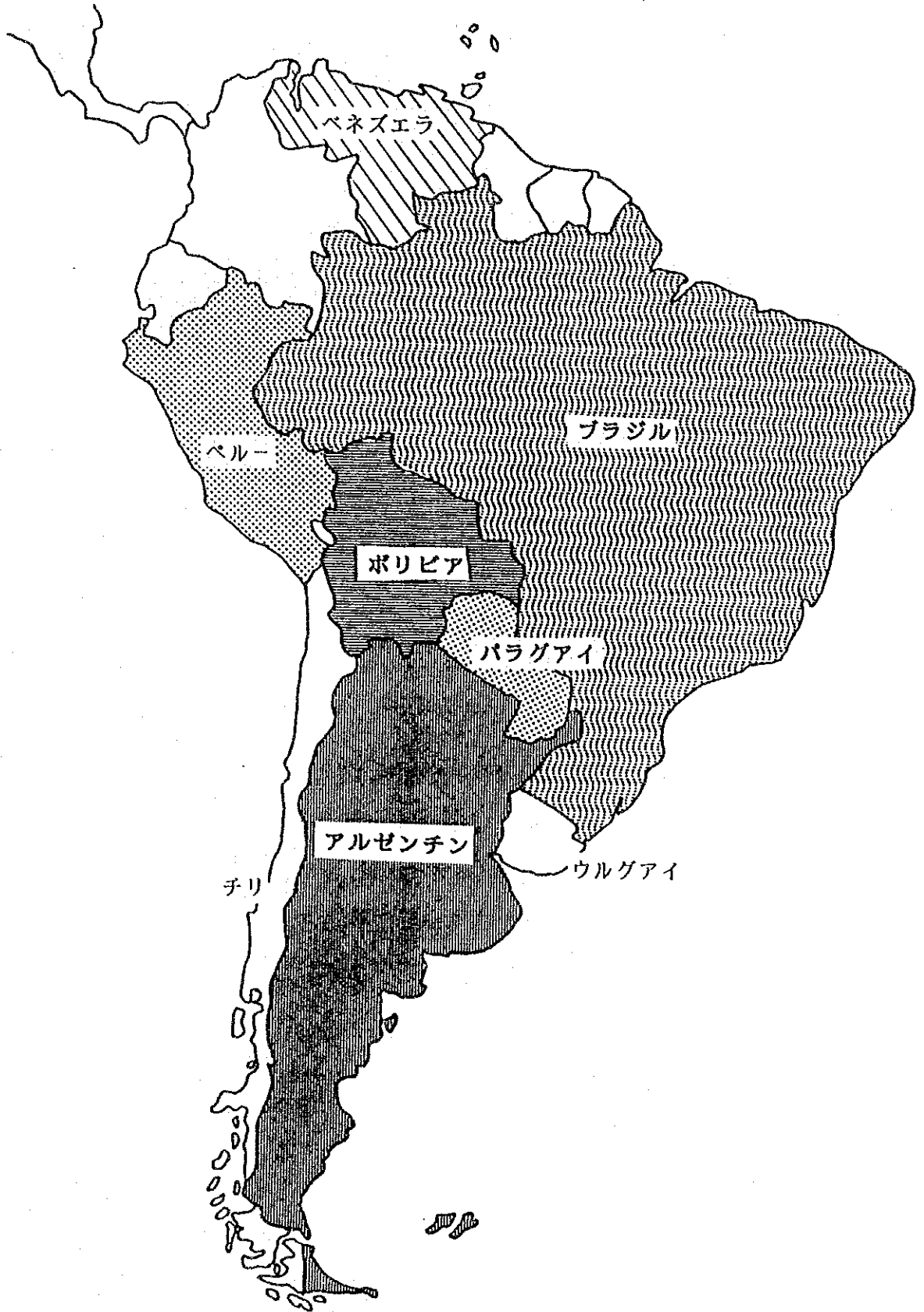




# 南アメリカの地図



南アメリカ





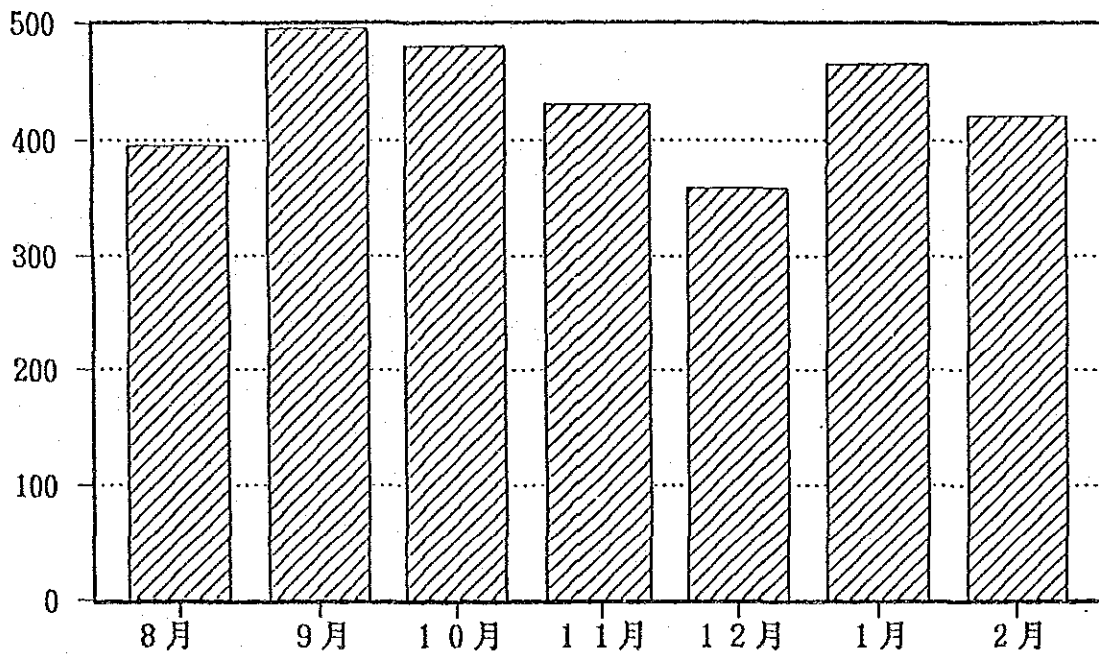
## 数值表



【表 1】 月別相談者数と割合(1992年8月~1993年2月)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
相談者数	395	495	480	430	359	465	420	3,044
割合	13.0%	16.3%	15.8%	14.1%	11.8%	15.3%	13.8%	100.0%

月別相談者数と割合



【表 2】 月別・国別相談数(1992年8月~1993年2月)

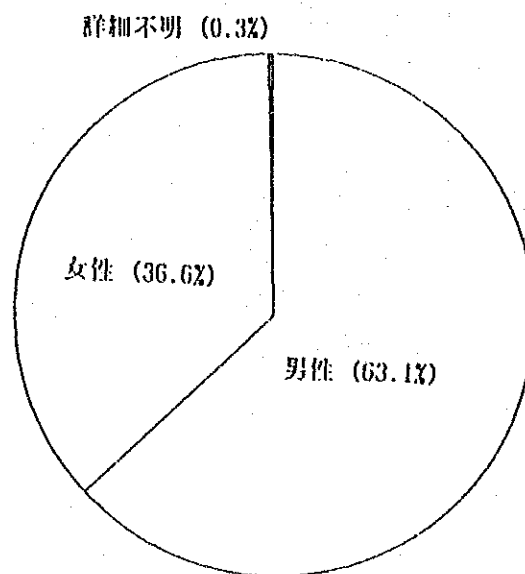
N=3044

月\出身国	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	ボリビア	パラグアイ	他の日系	非日系	日本	詳細不明	計
1992・8	260	73	3	7	2	2	2	40	6	395
9	332	103	-	3	-	1	3	48	5	495
10	351	73	1	6	2	4	1	39	3	480
11	279	98	1	6	-	3	1	39	3	430
12	240	76	1	1	-	2	1	35	3	359
1993・1	302	102	4	8	-	3	-	45	1	465
2	276	91	2	1	1	1	2	44	2	420
国別合計	2,040	616	12	32	5	16	10	290	23	3,044
割合	67.0%	20.2%	0.4%	1.1%	0.2%	0.5%	0.3%	9.5%	0.8%	100.0%

注: - は 0 である

【表 3】 性別相談者数と割合

	相談者数	割合
男 性	1,922	63.1%
女 性	1,114	36.6%
性別不明	8	0.3%
合 計	3,044	100.0%



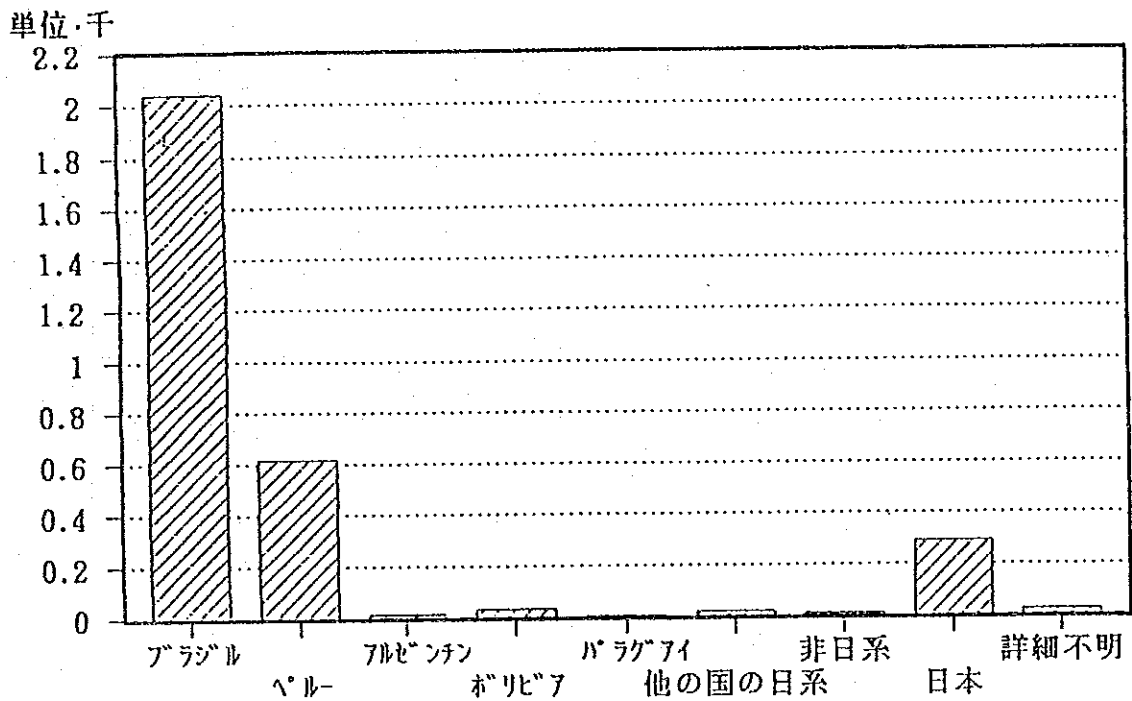


【表 4】 国別相談者数と割合

N=3044

出身国	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	ボリビア	パラグアイ	他の日系	非日系	日本	詳細不明	計
相談者数	2,040	616	12	32	5	16	10	290	23	3,044
割合	67.0%	20.2%	0.4%	1.1%	0.2%	0.5%	0.3%	9.5%	0.8%	100.0%

国別相談者数と割合



【表 5】 国別・性別相談者数と割合

N=3044

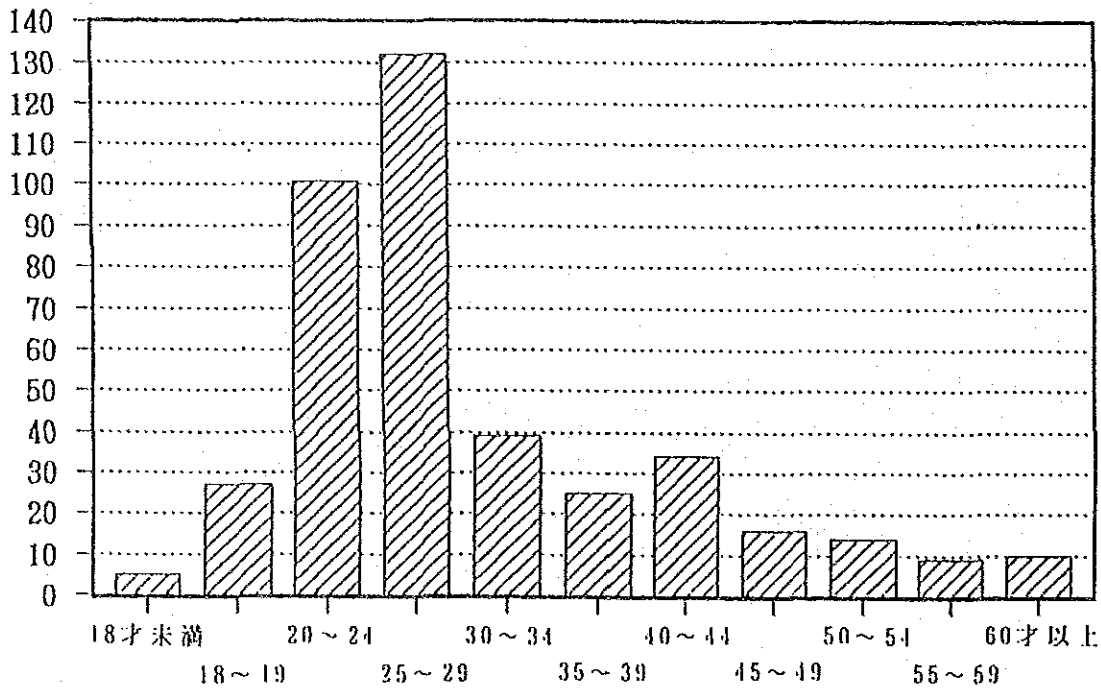
性別 \ 国	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	ボリビア	パラグアイ	他の日系	非日系	日本	詳細不明	計
男 性	1,290	400	5	24	2	10	4	172	15	1,922
	63.2%	64.9%	41.7%	75.0%	40.0%	62.5%	40.0%	59.3%	65.2%	63.1%
女 性	748	214	7	8	3	5	6	116	7	1,114
	36.7%	34.7%	58.3%	25.0%	60.0%	31.3%	60.0%	40.0%	30.4%	36.6%
性別不明	2	-	-	-	-	1	-	2	1	8
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.7%	4.3%	0.3%
国別合計	2,040	616	12	32	5	16	10	290	23	3,044
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

注: - は 0 である

【表 6】 年齢別構成

	18才未満	18~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60才以上	合計	詳細不明
人数	5	27	101	132	39	25	34	16	14	9	10	412	2,632
割合	1.2%	6.6%	24.5%	32.0%	9.5%	6.1%	8.3%	3.9%	3.4%	2.2%	2.4%	100.0%	

年齢別構成



【表 7】 性別・年齢別構成

	18才未満	18~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60才以上	合計	詳細不明
男性	4	18	73	90	31	10	23	7	12	5	4	277	1,645
	1.4%	6.5%	26.4%	32.5%	11.2%	3.6%	8.3%	2.5%	4.3%	1.8%	1.4%	100.0%	
女性	1	9	28	42	8	15	11	9	2	4	6	135	979
	0.7%	6.7%	20.7%	31.1%	5.9%	11.1%	8.1%	6.7%	1.5%	3.0%	4.4%	100.0%	

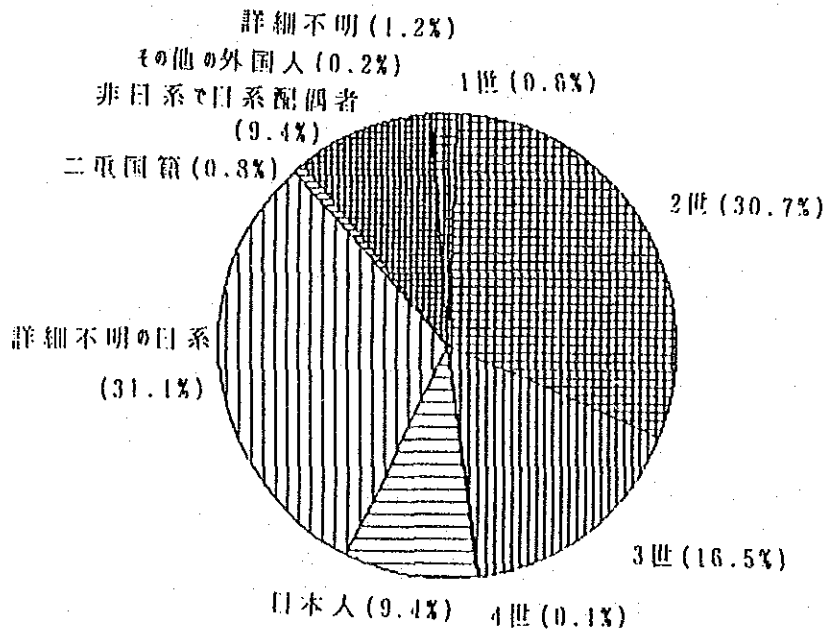
【表 8】 年齢別構成(ブラジル、ペルー)

	18才未満	18~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60才以上	合計	詳細不明
ブラ	4	21	92	112	33	23	29	15	12	6	4	351	1,689
ジル	1.1%	6.0%	26.2%	31.9%	9.4%	6.6%	8.3%	4.3%	3.4%	1.7%	1.1%	100.0%	
ペル	-	5	5	11	4	2	4	1	-	-	-	32	584
	0.0%	15.6%	15.6%	34.4%	12.5%	6.3%	12.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

注: - は 0 である

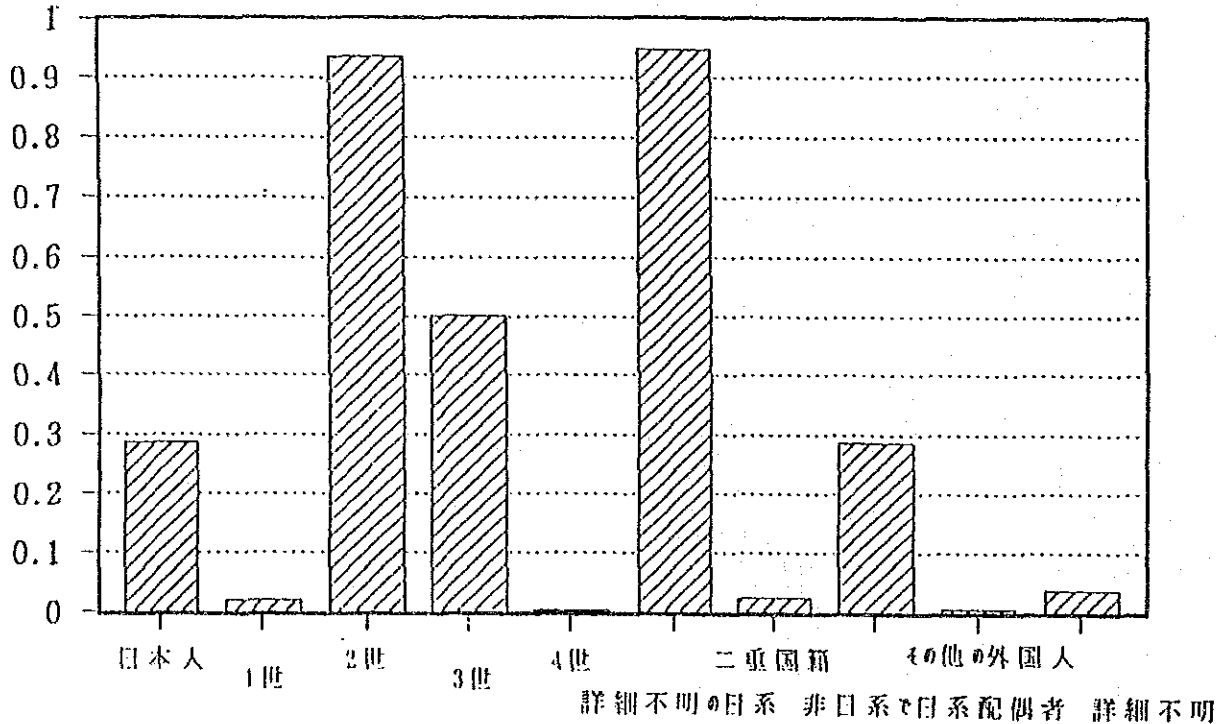
【表 9】 相談者の世代数と日系、非日系の別

1世	2世	3世	4世	日本人	詳細不明の日系	二重国籍	非日系で日系配偶者	その他の外国人	詳細不明	計
19	935	501	3	286	947	24	286	5	38	3,044
0.6%	30.7%	16.5%	0.1%	9.4%	31.1%	0.8%	9.4%	0.2%	1.2%	100.0%



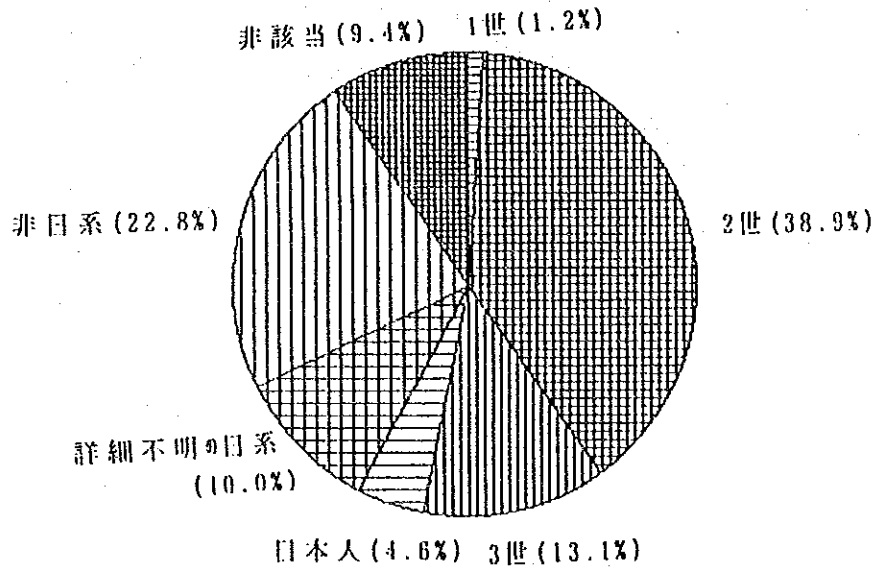
相談者の世代数と日系・非日系の別

単位・千

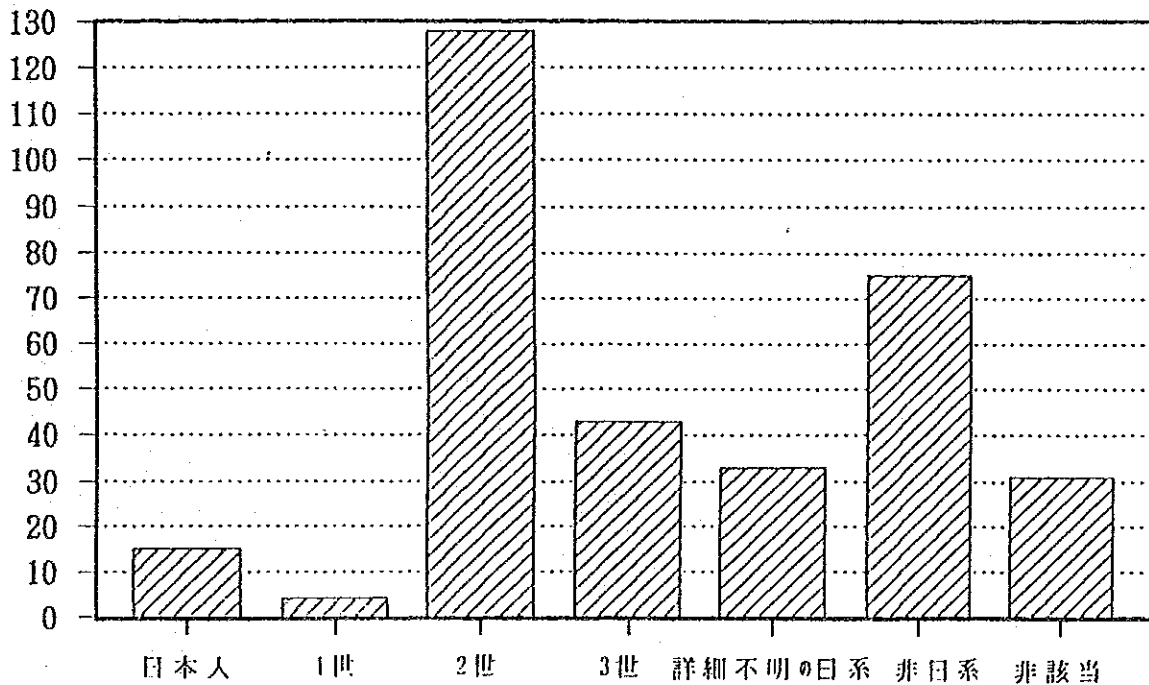


【表 10】 配偶者の世代数と日系、非日系の別

1世	2世	3世	日本人	詳細不明の日系	非日系	非該当	合計	詳細不明
4	128	43	15	33	75	31	329	2,715
1.2%	38.9%	13.1%	4.6%	10.0%	22.8%	9.4%	100.0%	



配偶者の世代数と日系・非日系の別



【表 1.1】 配偶者の性別・世代数

相談者の 出身地	配偶者	1世	2世	3世	日本人	詳細不明の日系	非日系	非該当	詳細不明
ブラジル	女性	-	68	21	5	11	35	8	1,142
	男性	4	42	9	8	12	28	11	634
	計	4	110	30	13	23	63	19	1,778
ペルー	女性	-	6	5	-	5	5	3	376
	男性	-	9	8	-	3	3	2	189
	計	-	15	13	-	8	8	5	567
日 本	女性	-	1	-	1	-	1	1	168
	男性	-	1	-	-	-	1	2	112
	計	-	2	-	1	-	2	3	290

注: - は 0 である

【表 12】 都道府県別居住地域

N=3044

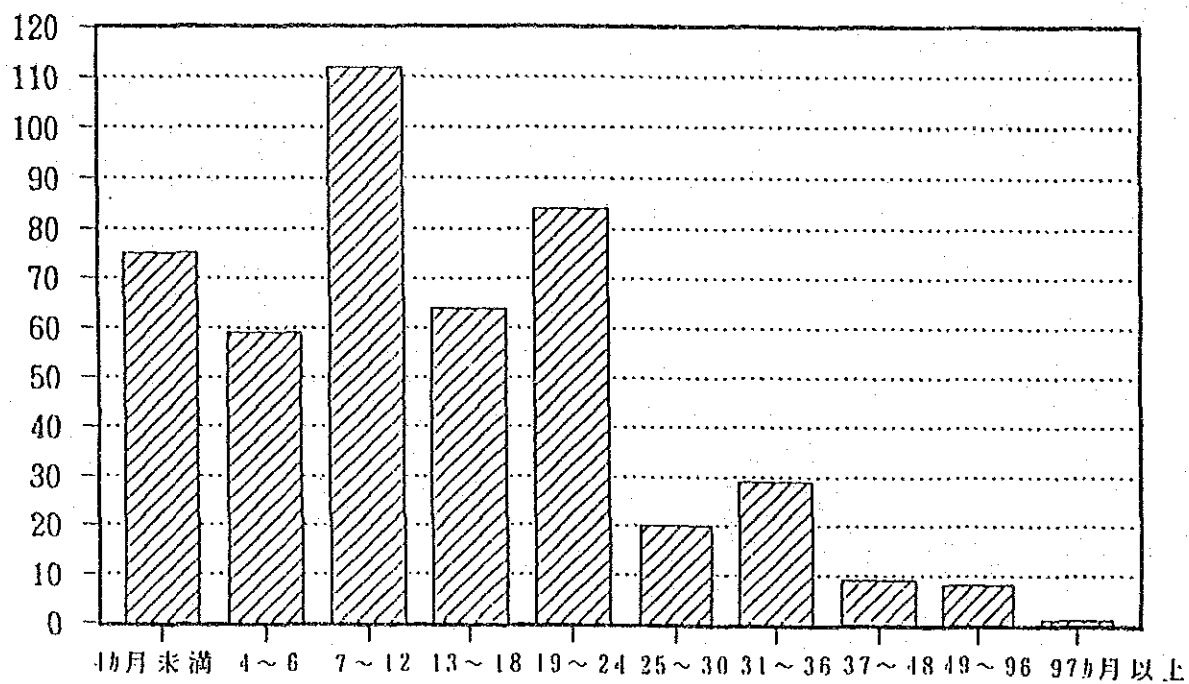
都道府県	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	ボリビア	パラグアイ	他の日系	非日系	日本	詳細不明	計
北海道	3	1	-	-	-	-	-	-	-	4
青森	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城	1	4	-	-	-	-	-	2	-	7
山形	2	-	-	-	-	-	-	1	-	3
秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	11	1	-	-	-	-	-	-	-	12
茨城	42	13	-	1	-	-	-	1	-	57
栃木	43	28	-	1	-	-	-	11	1	84
群馬	58	9	1	-	-	-	-	3	1	72
埼玉	130	34	2	1	-	2	1	12	1	183
千葉	71	27	-	2	-	-	-	10	1	111
東京	134	50	-	3	2	1	2	73	2	267
神奈川	113	57	4	4	1	1	1	32	-	213
新潟	14	3	-	-	-	-	-	3	-	20
富山	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7
石川	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10
福井	9	2	-	-	-	-	-	-	-	11
山梨	19	6	-	-	-	-	-	-	-	25
長野	50	4	-	-	-	-	1	1	-	56
岐阜	45	8	-	2	-	-	-	5	-	60
静岡	93	17	-	-	-	-	-	8	-	118
愛知	185	29	-	6	1	1	1	14	-	237
三重	49	7	1	-	-	1	-	1	-	59
滋賀	43	2	-	-	-	-	-	3	-	48
京都	5	3	-	-	-	-	-	-	-	8
大阪	56	6	-	1	-	-	-	7	1	71
兵庫	28	8	-	-	-	1	1	6	1	45
奈良	11	2	-	-	-	-	-	1	-	14
和歌山	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山	18	2	-	-	-	-	-	3	-	23
広島	23	6	-	-	-	-	-	6	-	35
山口	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
香川	6	4	-	-	-	-	-	-	-	10
愛媛	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福岡	3	3	-	-	-	-	-	1	-	7
佐賀	2	-	-	-	-	-	-	1	-	3
長崎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
大分	-	2	-	-	-	-	1	-	-	3
宮崎	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島	5	2	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
詳細不明	742	270	4	11	1	9	2	84	15	1138
国別合計	2040	616	12	32	5	16	10	290	23	3044

注: - は 0 である

【表 13】 在日期間(月数)

月数	4カ月未満	4~6	7~12	13~18	19~24	25~30	31~36	37~48	49~96	97以上	合計	詳細不明
人数	75	59	112	64	84	20	29	9	8	1	461	2,293
割合	16.3%	12.8%	24.3%	13.9%	18.2%	4.3%	6.3%	2.0%	1.7%	0.2%	100.0%	

在日期間(月数)





【表 1.4】 日本での職業・職場あるいは部門

未熟練労働	7	5.5%
熟練労働	2	1.6%
会社員	13	10.2%
商店店員	5	3.9%
専門職	15	11.8%
学生・研修生	4	3.1%
部品工場	4	3.1%
化学関係工場	2	1.6%
食品加工工場	3	2.4%
製造業	22	17.3%
建設業	10	7.9%
サービス業(建設業除く)	15	11.8%
失業中	18	14.2%
その他	7	5.5%
計	127	100.0%
詳細不明	2,626	

相談全件数 ..... 3,582 件

【表 15】 生活情報・相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
生活相談一般	93	2.6%	9.0%	相談 項目 件数  1,035
離婚について	25	0.7%	2.4%	
結婚について	79	2.2%	7.6%	
家族の呼び寄せ	40	1.1%	3.9%	
子供の出生手続き	22	0.6%	2.1%	
家族・友人との関係	8	0.2%	0.8%	
親類・友人の捜索願	17	0.5%	1.6%	
委任状作成について	30	0.8%	2.9%	
生活便利帳請求	69	1.9%	6.7%	
沖縄観光照会	4	0.1%	0.4%	
各種紛失届	24	0.7%	2.3%	
各種問合わせ(日本国内)	321	9.0%	31.0%	
各種問合わせ(出身国・外国)	59	1.6%	5.7%	
子供を預けて働きたい	4	0.1%	0.4%	
日系人雇用関連(企業)	5	0.1%	0.5%	
弁護士の紹介	35	1.0%	3.4%	
人材派遣会社とのトラブル(生活面)	4	0.1%	0.4%	
日系人に関する資料依頼・調査	25	0.7%	2.4%	
各種伝言	20	0.6%	1.9%	
その他	77	2.2%	7.4%	
詳細不明	74	2.1%	7.1%	

【表 16】 生活情報・相談(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
生活相談一般	76	9	7
離婚について	18	6	1
結婚について	60	12	5
家族の呼び寄せ	36	4	-
子供の出生手続き	17	3	2
家族・友人との関係	6	1	1
親類・友人の搜索願	13	1	3
委任状作成について	27	-	3
生活便利帳請求	31	21	14
沖縄観光照会	4	-	-
各種紛失届	14	9	-
各種問合わせ(日本国内)	210	63	40
各種問合わせ(出身国・外国)	47	-	11
子供を預けて働きたい	2	2	-
日系人雇用関連(企業)	-	-	4
弁護士の紹介	22	8	4
人材派遣会社とのトラブル(生活面)	4	-	-
日系人に関する資料依頼・調査	3	-	20
各種伝言	13	-	7
その他	48	10	17
詳細不明	52	4	15
国別合計	703	153	154

注: - は 0 である

【表 17】 労働問題

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
残業・皆勤手当・賞与支給されず	20	0.6%	3.3%	相談 項目 件数  609
罰金課せられる	51	1.4%	8.4%	
給与の罰金化	16	0.4%	2.6%	
転職後の賃金不払い残金調整	16	0.4%	2.6%	
賃金支給されず	80	2.2%	13.1%	
時給削減される	15	0.4%	2.5%	
事前に知らされていた給与額と違う	9	0.3%	1.5%	
約束の帰国航空券出ず	4	0.1%	0.7%	
査証料・旅費が罰金化	22	0.6%	3.6%	
親類・友人の労働問題	3	0.1%	0.5%	
退職により身元保証人失う	9	0.3%	1.5%	
人材派遣会社社長の逃亡	5	0.1%	0.8%	
家賃の過大差し引き	5	0.1%	0.8%	
パスポート取り上げられる	40	1.1%	6.6%	
パスポート取り上げ・罰金取られる	21	0.6%	3.4%	
労働中の事故	11	0.3%	1.8%	
解雇される	47	1.3%	7.7%	
仕事が健康に害をきたしている	18	0.5%	3.0%	
辞職希望	23	0.6%	3.8%	
家族呼び寄せについて	3	0.1%	0.5%	
会社・人材派遣会社との問題	84	2.3%	13.8%	
税金の過大徴収	4	0.1%	0.7%	
その他	32	0.9%	5.3%	
詳細不明	71	2.0%	11.7%	

【表 18】 労働問題(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
残業・皆勤手当・賞与支給されず	16	3	-
罰金課せられる	50	1	-
給与の罰金化	15	1	-
転職後の賃金不払い残金調整	14	2	-
賃金支給されず	57	18	3
時給削減される	10	4	-
事前に知らされていた給与額と違う	5	4	-
約束の帰国航空券出ず	4	-	-
査証料・旅費が罰金化	19	2	-
親類・友人の労働問題	3	-	-
退職により身元保証人失う	7	2	-
人材派遣会社社長の逃亡	3	2	-
家賃の過大差し引き	3	2	-
パスポート取り上げられる	28	10	2
パスポート取り上げ・罰金取られる	19	2	-
労働中の事故	7	2	2
解雇される	33	11	2
仕事が健康に害をきたしている	14	4	-
辞職希望	22	1	-
家族呼び寄せについて	2	1	-
会社・人材派遣会社との問題	68	12	1
税金の過大徴収	1	2	-
その他	28	1	3
詳細不明	55	13	3
国別合計	483	100	16

注: - は 0 である

【表 19】 ボランティア等

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
日系人から相談受ける	9	0.3%	45.0%	相談 項目 件数 20
日系人のためのボランティア活動希望	5	0.1%	25.0%	
その他	3	0.1%	15.0%	
詳細不明	3	0.1%	15.0%	

【表 20】 ボランティア等(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
日系人から相談受ける	-	-	9
日系人のためのボランティア活動希望	-	-	5
その他	-	-	3
詳細不明	1	1	1
国別合計	1	1	18

注: - は 0 である

【表 21】 求人

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
日系人雇用希望	17	0.5%	63.0%	相談項目 件数 27
その他	1	0.0%	3.7%	
詳細不明	9	0.3%	33.3%	

【表 2 2】 求人(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
日系人雇用希望	4	-	13
その他	-	-	-
詳細不明	2	-	7
国別合計	6	-	20

注: - は 0 である

【表 2 3】 求職

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
義務教育年令就労希望	2	0.1%	0.3%	相談項目 件数 791
より良い条件の職・転職希望	24	0.7%	3.1%	
その他	57	1.6%	7.1%	
詳細不明	708	19.8%	89.5%	

【表 2 4】 求職(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
義務教育年令就労希望	2	-	-
より良い条件の職・転職希望	18	6	-
その他	32	11	9
詳細不明	474	206	8
国別合計	526	223	17

注: - は 0 である

【表 25】 査証関係の相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
4世の査証について	6	0.2%	1.1%	相談 項目 件数 538
帰国せず査証更新の可能性について	3	0.1%	0.6%	
身元保証人探し	6	0.2%	1.1%	
親類・友人の査証に関する相談	96	2.7%	17.8%	
オーバーステイについて	20	0.6%	3.7%	
二重国籍・帰化について	23	0.6%	4.3%	
再入国査証手続き	54	1.5%	10.0%	
査証更新時の書類不備の対応	38	1.1%	7.1%	
査証更新時に必要な書類揃え切れず	5	0.1%	0.9%	
査証更新に必要な書類・手続き問合せ	137	3.8%	25.5%	
配偶者非日系人の査証変更の手続き	38	1.1%	7.1%	
各種証明書の取り寄せ方法	24	0.7%	4.5%	
APPLICATION(申請中)について	28	0.8%	5.2%	
身元保証人希望者	3	0.1%	0.6%	
その他	29	0.8%	5.4%	
詳細不明	28	0.8%	5.2%	



【表 26】 査証関係の相談(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
4世の査証について	1	4	1
帰国せず査証更新の可能性について	3	-	-
身元保証人探し	3	2	-
親類・友人の査証に関する相談	46	17	29
オーバーステイについて	6	11	1
二重国籍・帰化について	11	7	3
再入国査証手続き	48	5	1
査証更新時の書類不備の対応	11	24	3
査証更新時に必要な書類揃え切れず	-	3	2
査証更新に必要な書類・手続き問合せ	85	33	2
配偶者非日系人の査証変更の手続き	29	6	2
各種証明書の取り寄せ方法	18	5	-
APPLICATION(申請中)について	11	14	1
身元保証人希望者	2	-	1
その他	17	11	-
詳細不明	11	10	1
国別合計	302	152	47

注: - は 0 である

【表 27】 税金に関する相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
税金一般	39	1.1%	39.4%	相談 項目 件数 99
住民税関連	15	0.4%	15.2%	
所得税関連	15	0.4%	15.2%	
その他	16	0.4%	16.2%	
詳細不明	14	0.4%	14.1%	

【表 28】 税金に関する相談(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
税金一般	32	6	1
住民税関連	14	1	-
所得税関連	13	2	-
その他	14	2	-
詳細不明	12	1	-
国別合計	85	12	1

注: - は 0 である

【表 29】 医療に関する相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
中絶希望(経済的事情により)	1	0.0%	1.7%	相談 項目 件数 60
日系人に同病者協会等を紹介したい	2	0.1%	3.3%	
労働中怪我・事故	8	0.2%	13.3%	
仕事外の怪我・事故	5	0.1%	8.3%	
医療生活扶助について	8	0.2%	13.3%	
親類の怪我	4	0.1%	6.7%	
その他	28	0.8%	46.7%	
詳細不明	4	0.1%	6.7%	

【表 30】 医療に関する相談(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
中絶希望(経済的事情により)	1	-	-
日系人に同病者協会等を紹介したい	-	-	2
労働中怪我・事故	6	2	-
仕事外の怪我・事故	2	2	-
医療生活扶助について	4	2	1
親類の怪我	4	-	-
その他	16	8	4
詳細不明	3	-	-
国別合計	36	14	7

注: - は 0 である

【表 3 1】 日本語(学習・通訳・翻訳)に関する相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
学習希望	35	1.0%	24.3%	相談 項目 件数 144
通訳・翻訳する	3	0.1%	2.1%	
通訳・翻訳依頼	86	2.4%	59.7%	
日本語を教える	6	0.2%	4.2%	
その他	13	0.4%	9.0%	
詳細不明	1	0.0%	0.7%	

【表 3 2】 日本語(学習・通訳・翻訳)に関する相談(ブラジル, ペルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
学習希望	27	7	-
通訳・翻訳する	1	1	1
通訳・翻訳依頼	40	25	19
日本語を教える	-	-	5
その他	6	4	3
詳細不明	-	-	1
国別合計	74	37	29

注: - は 0 である

【表 3 3】 保険・年金に関する相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
労働中事故・怪我(労災希望)	38	1.1%	24.2%	相談 項目 件数 157
仕事外での事故	10	0.3%	6.4%	
国民健康保険料高い	14	0.4%	8.9%	
保険加入断られる	5	0.1%	3.2%	
保険の対象となるものについて	5	0.1%	3.2%	
保険への加入方法	14	0.4%	8.9%	
保険に加入したがない日系人	2	0.1%	1.3%	
保険解約希望	11	0.3%	7.0%	
その他	36	1.0%	22.9%	
詳細不明	22	0.6%	14.0%	

【表 3 4】 保険・年金に関する相談(ブラジル、ペルー、日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
労働中事故・怪我(労災希望)	30	8	-
仕事外での事故	7	2	-
国民健康保険料高い	13	-	1
保険加入断られる	4	-	1
保険の対象となるものについて	5	-	-
保険への加入方法	6	3	1
保険に加入したがない日系人	-	-	2
保険解約希望	10	1	-
その他	29	2	5
詳細不明	18	2	1
国別合計	122	18	11

注：- は 0 である

【表 35】 学校教育に関する相談

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
保育園・幼稚園関連	9	0.3%	36.0%	相談 項目 件数 25
小学校関連	3	0.1%	12.0%	
中学校関連	1	0.0%	4.0%	
大学関連	3	0.1%	12.0%	
その他	7	0.2%	28.0%	
詳細不明	2	0.1%	8.0%	

【表 36】 学校教育に関する相談(ブラジル, ベルー, 日本)

相談内容 \ 出身国	ブラジル	ベルー	日本
保育園・幼稚園関連	5	3	-
小学校関連	3	-	-
中学校関連	-	-	1
大学関連	3	-	-
その他	7	-	-
詳細不明	1	-	1
国別合計	19	3	2

注: - は 0 である

【表 37】 帰国

	件数	相談全体に 占める割合	相談項目に 占める割合	
帰国のための旅行会社紹介依頼	8	0.2%	10.4%	相談 項目 件数 77
職がみつからなく帰国	1	0.0%	1.3%	
財産証明書について	27	0.8%	35.1%	
一時帰国について	3	0.1%	3.9%	
その他	32	0.9%	41.6%	
詳細不明	6	0.2%	7.8%	

【表 38】 帰国(ブラジル, ペルー, 日本)

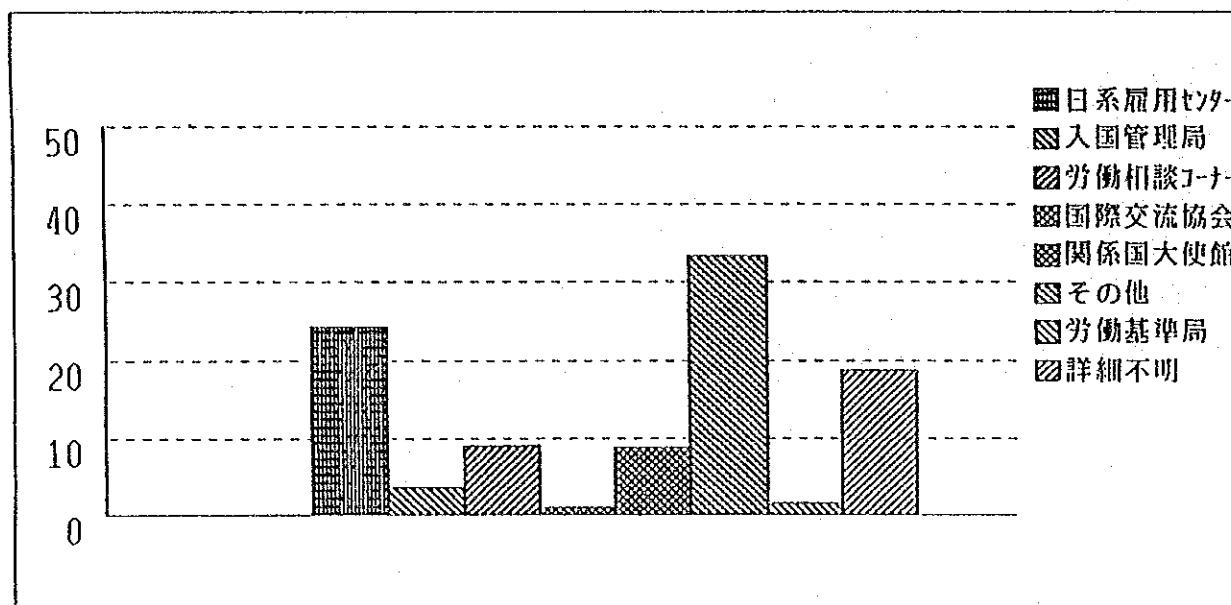
相談内容 \ 出身国	ブラジル	ペルー	日本
帰国のための旅行会社紹介依頼	3	4	1
職がみつからなく帰国	1	-	-
財産証明書について	27	-	-
一時帰国について	3	-	-
その他	26	5	1
詳細不明	6	-	-
国別合計	66	9	2

注: - は 0 である

【表 39】 相談に対する対応及び紹介機関先 N=3044

対応及び紹介機関先	件数	割合
日系人雇用サービス・センター	738	24.2%
入管インフォメーション・センター	111	3.6%
外国人労働相談コーナー	271	8.1%
関係各県・市の国際交流協会	28	0.9%
関係各国大使館	269	8.8%
労働監督署・基準局	46	1.5%
その他	1,014	33.3%
詳細不明	565	18.6%
合計	3,044	100.0%

相談に対する対応及び紹介機関先

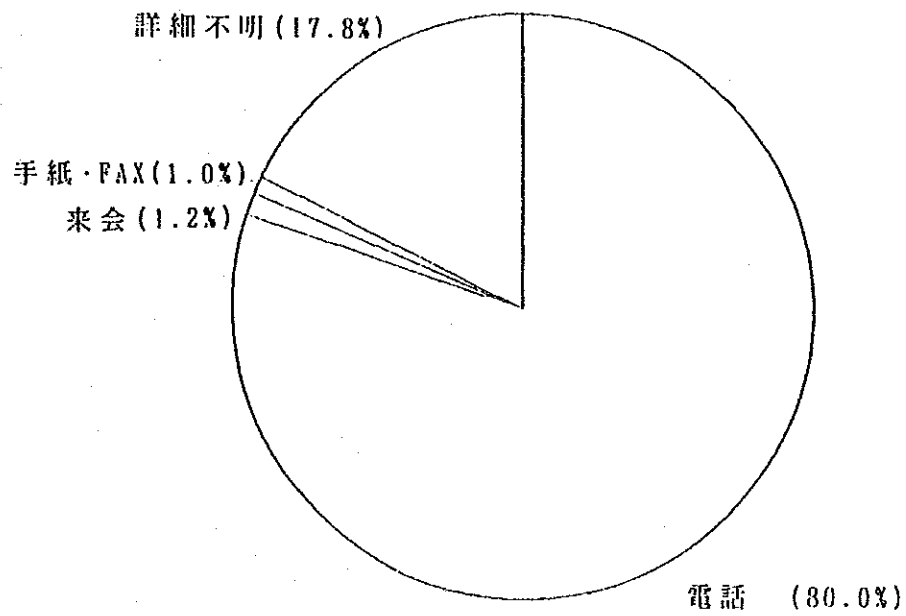




【表 40】 相談方法 N=3044

	件 数	割 合
電 話	2,436	80.0%
来 会	36	1.2%
手紙・FAX	31	1.0%
詳細不明	541	17.8%
合 計	3,044	100.0%

相談方法





# 相 談 票



相 談 票

受付平成 年 月 日

時 分

氏 名

性 別 M. F. 年 令

職 業

来 日 年 月 日

来日職業

国名 フランス 日系

ポルト

学 歴

アルゼンチン 非日系

ボリビア

履修科目

ポラクアイ

日本

連絡先（住所）

（電話）

相談内容 生活相談 ボランティア等 求人 求職 労働問題

査証 日本語（学習、翻訳、通訳）保険・年金 税金

医療 子供の教育 帰国

対 応

紹介先

日系人雇用リビセンター

県（市）国際交流協会

入管インフォメーションセンター

国大使館

外国人労働相談コーナー

電話

来会

手紙

担 当

JICA

